

～平成30年度～

子育て支援に関する アンケート調査



平成30年度 子育て支援に関するアンケート調査

1 アンケート配布・回収数

	配布数	回収数	回収率
30年度	2,490	1,596	64.1%
29年度	2,463	1,616	65.6%
28年度	2,490	1,285	51.6%
27年度	2,480	1,038	41.8%
26年度	2,310	1,088	47.1%
25年度	6,000	3,618	60.3%

2 アンケート調査対象者

区内の子育て支援施設等を利用している児童の保護者

	配布数	回収数	回収率
(1) 公立・私立保育所	625	380	60.8%
(2) 児童館	230	160	69.6%
(3) 公立・私立幼稚園	466	390	83.7%
(4) 認証保育所	41	27	65.9%
(5) 公立・私立学童保育クラブ	482	275	57.1%
(6) 認定こども園	400	163	40.8%
(7) 家庭福祉員	79	70	88.6%
(8) 小規模保育事業所	17	11	64.7%
(9) 子育てひろば	150	120	80.0%

3 調査結果の見方

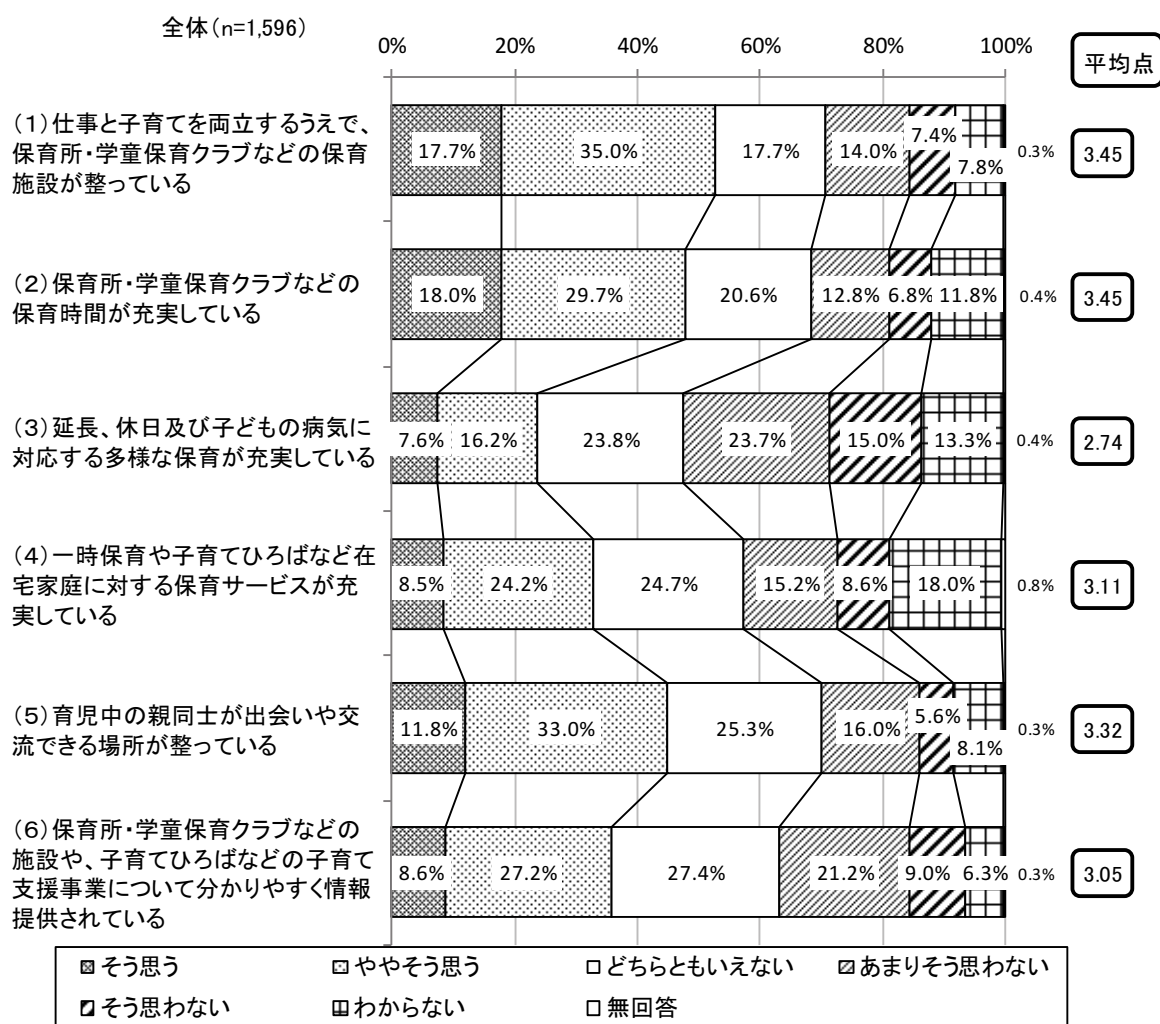
- (1) 図中の「n」は、当該設問の回答者数を表します。対象を限定した設問では、「n」の値が全体の回答者数より小さくなります。
- (2) 集計した数値(%)は小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値(%)をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- (3) 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- (4) アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表では、要約して表現しています。
- (5) 「無回答」には、単数回答を求めている設問で複数の選択肢に○が付されている等、集計から除外した票数を含みます。

- (6) 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。
- (7) 本文は、基本目標全体と、それぞれの目標の経年変化で分析しています。
- 【全体】各選択肢の回答比率を算出するほか、「そう思う」を5点、「ややそう思う」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまりそう思わない」を2点、「そう思わない」を1点にそれぞれ配点し、平均得点を算出しました。
- 【経年変化】例年実施している同様の調査6か年分の比較を掲載しています。

4 調査結果

基本目標 1. のびのび子育て！に関する質問【全体】

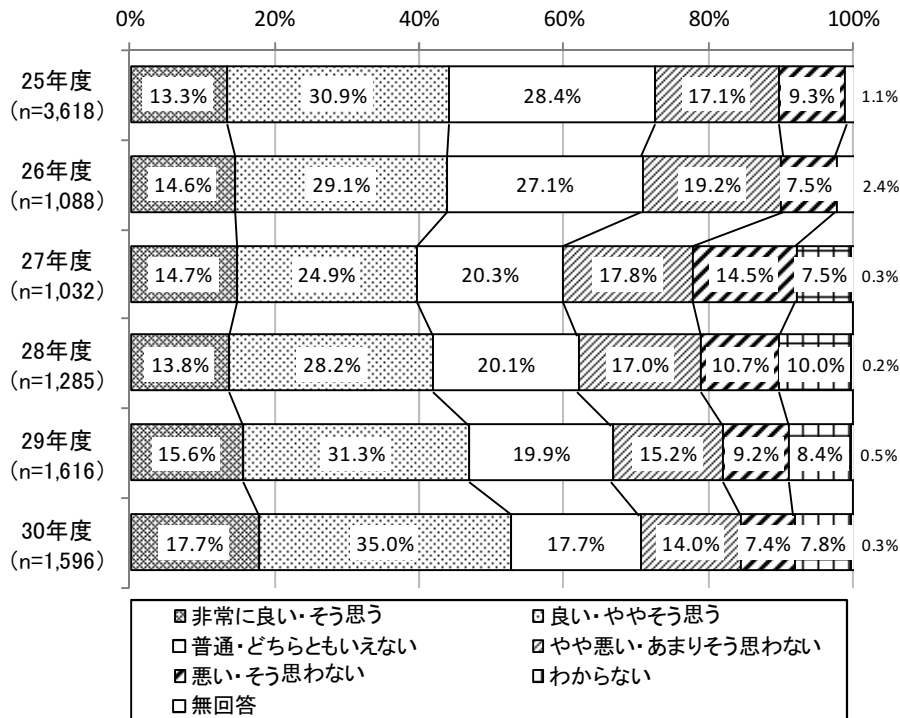
- (1) 仕事と子育てを両立するうえで、保育所・学童保育クラブなどの保育施設が整っている。
- (2) 保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している。
- (3) 延長、休日及び子どもの病気に対応する多様な保育が充実している。
- (4) 一時保育や子育てひろばなど在宅家庭に対する保育サービスが充実している。
- (5) 育児中の親同士が出会いや交流できる場所が整っている。
- (6) 保育所・学童保育クラブなどの施設や、子育てひろばなどの子育て支援事業について分かりやすく情報提供されている。



基本目標 1 の評価は、「(1) 仕事と子育てを両立するうえで、保育所・学童保育クラブなどの保育施設が整っている」「(2) 保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している」が共に 3.45 点で最も高く、「(3) 延長、休日及び子どもの病気に対応する多様な保育が充実している」が 2.74 点で最も低くなっています。

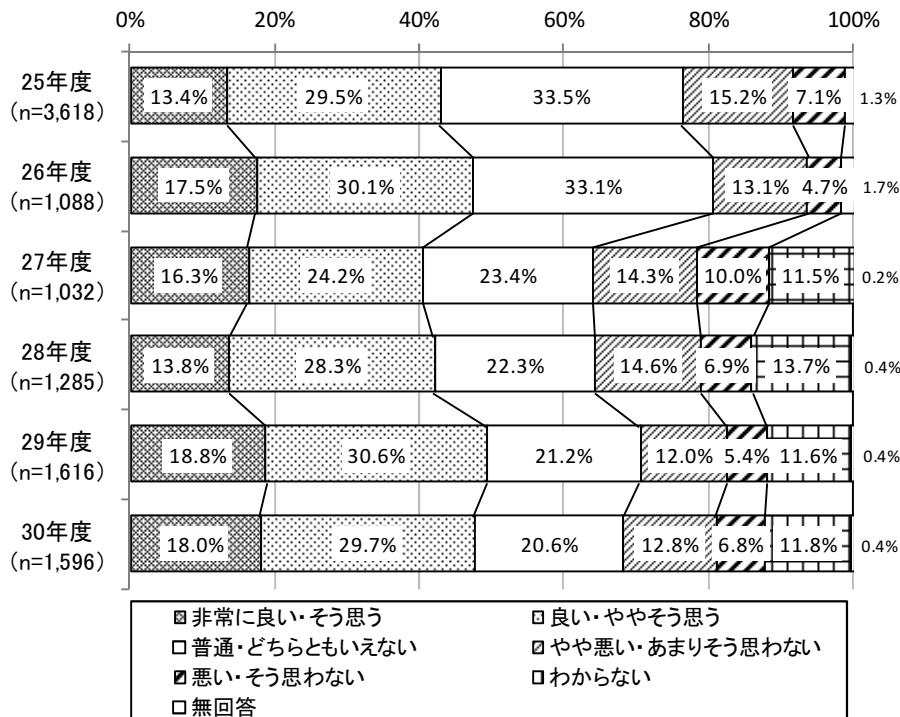
基本目標 1. のびのび子育て！に関する質問【経年変化】

(1) 仕事と子育てを両立するうえで、保育所・学童保育クラブなどの保育施設が整っている。



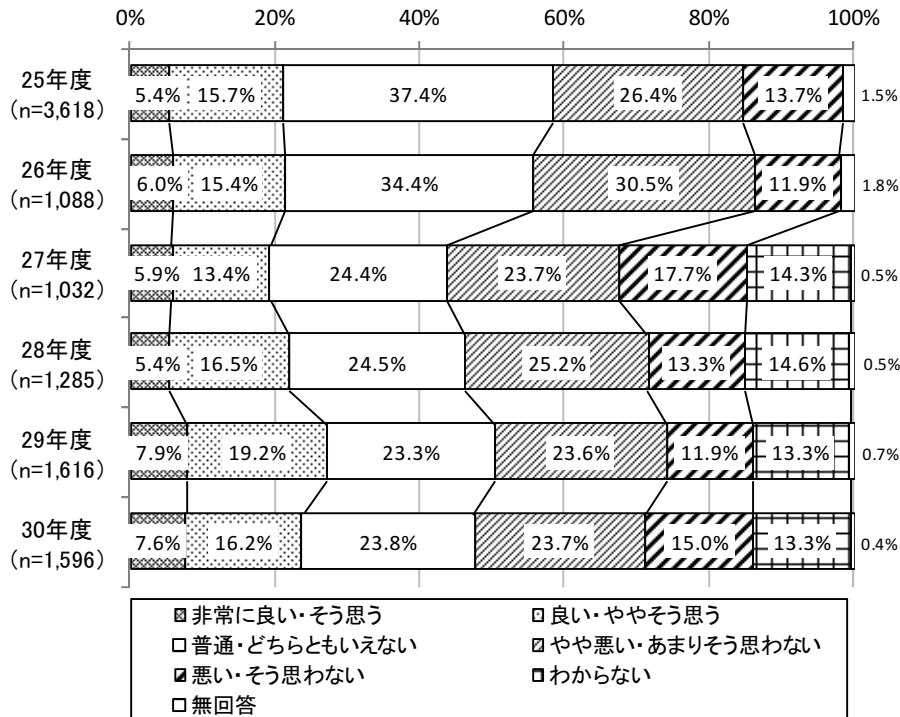
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度より 5.8 ポイント増加しており、平成 28 年度以降増加傾向が続いています。

(2) 保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している。



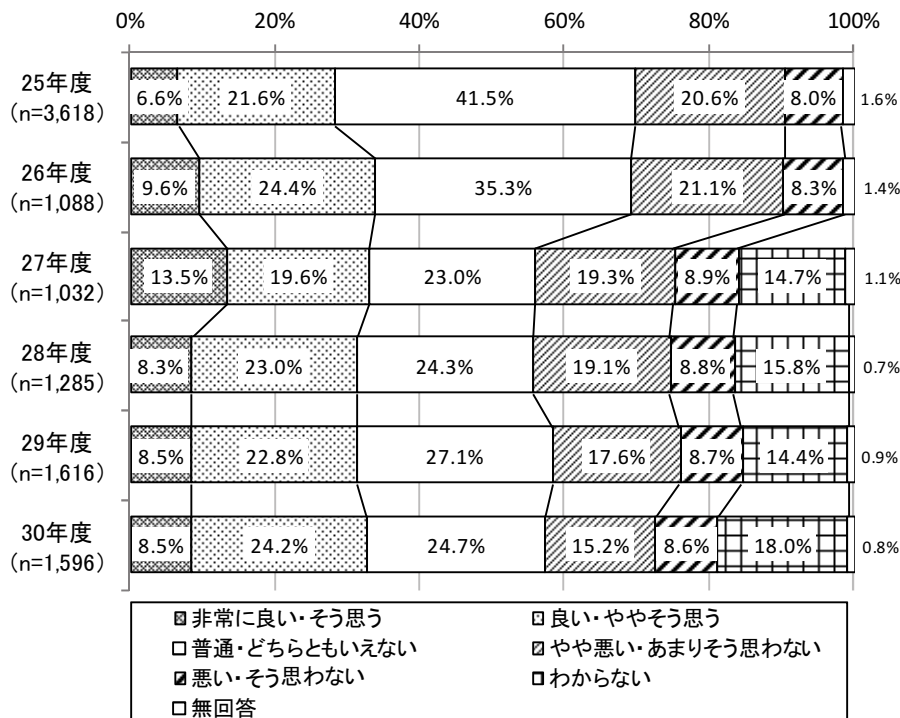
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は 47.7%と昨年度から微減しています。

(3) 延長、休日及び子どもの病気に対応する多様な保育が充実している。



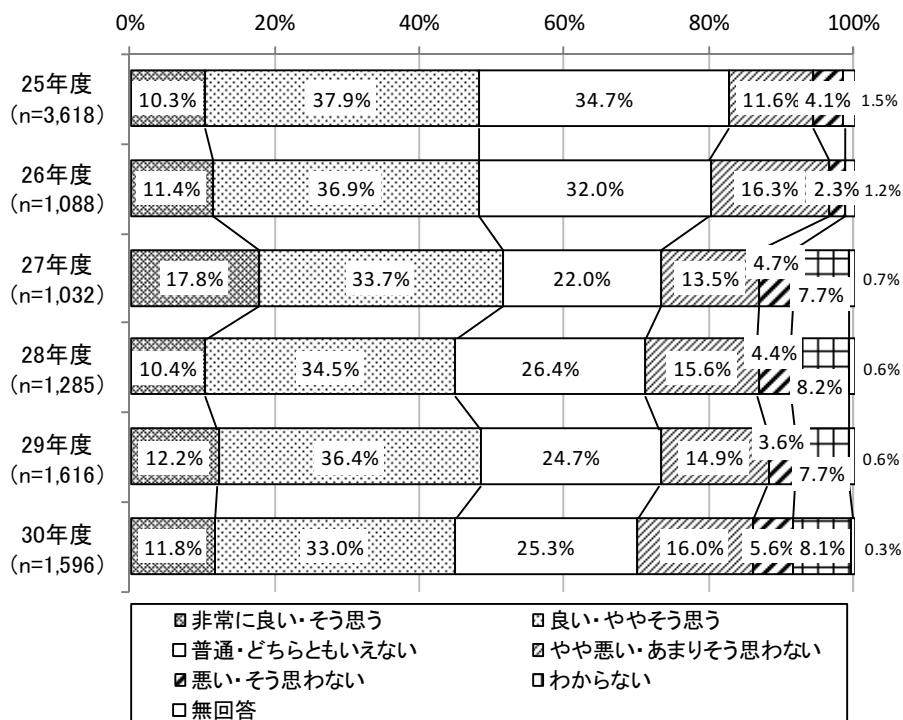
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度より 3.3 ポイント減少しています。また、「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計を 14.9 ポイント上回っており、経年でもその傾向が続いています。

(4) 一時保育や子育てひろばなど在宅家庭に対する保育サービスが充実している。



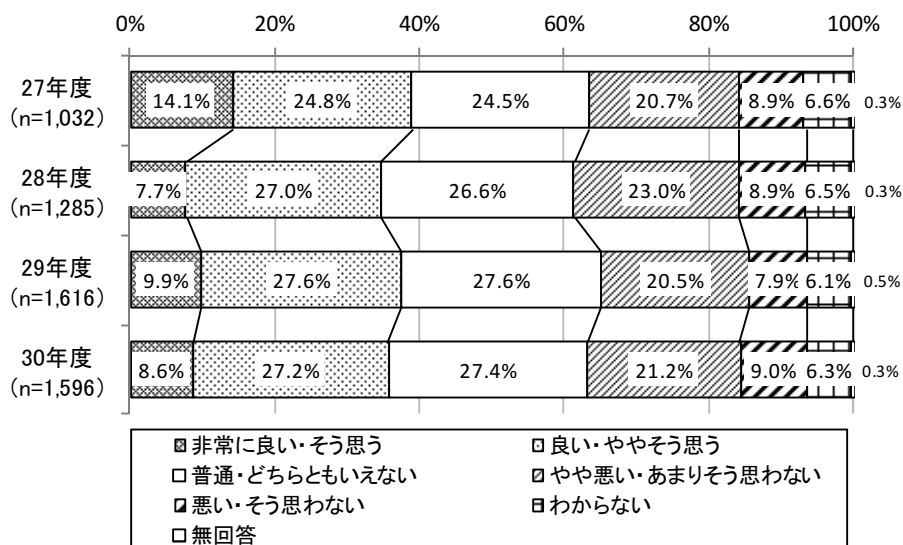
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は 32.7%と昨年度から微増しています。また、「わからない」が 3.6 ポイント増加しています。

(5) 育児中の親同士が会いや交流できる場所が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度より 3.8 ポイント減少しており、平成 28 年度と同程度となっています。

(6) 保育所・学童保育クラブなどの施設や、子育てひろばなどの子育て支援事業について分かりやすく情報提供されている。

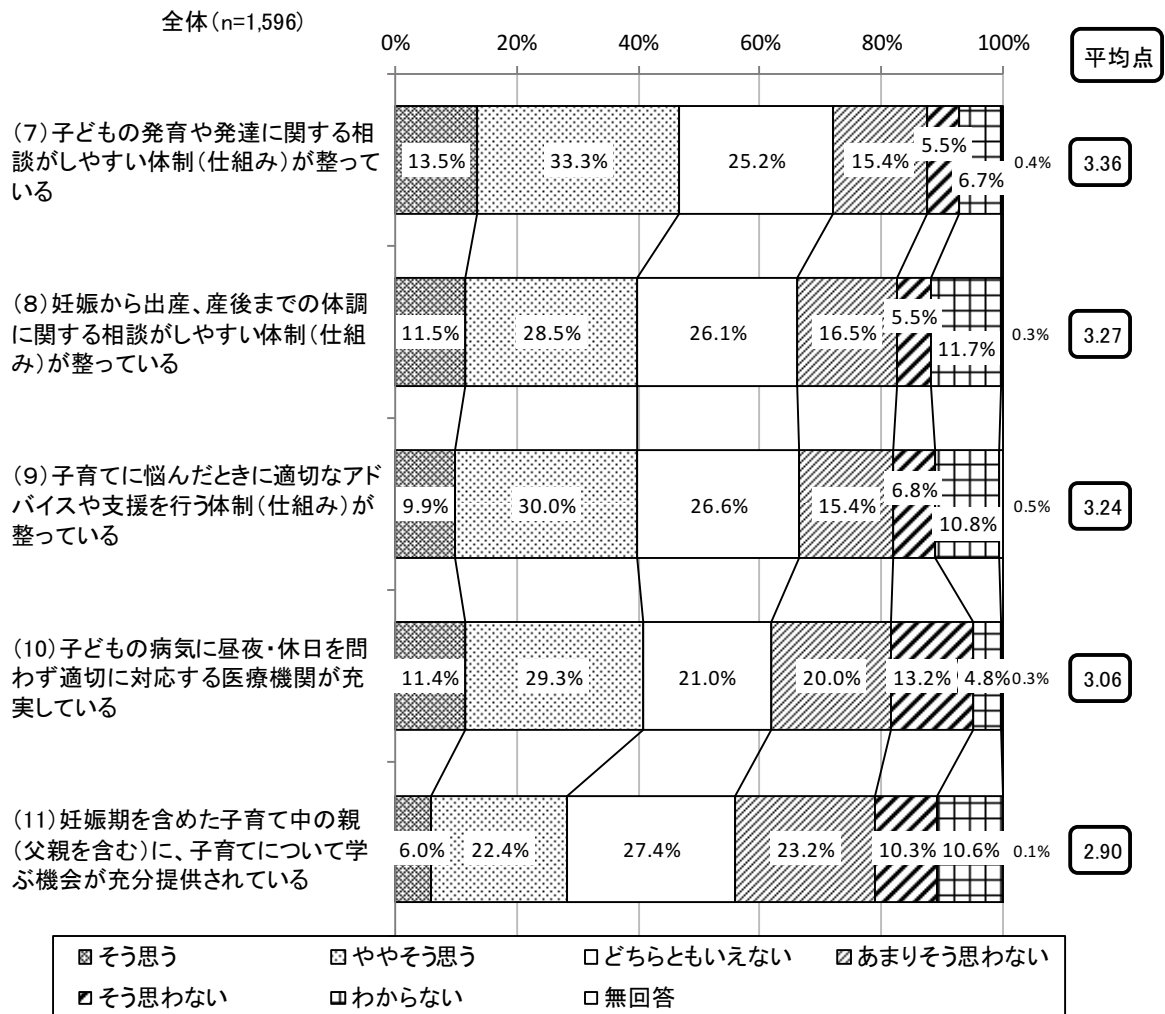


「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は 35.8%と昨年度から微減しています。

なお、この設問は平成 27 年度新規質問項目のため、平成 25 年度～平成 26 年度は調査を行っておりません。

基本目標 2. すこやか子育て！に関する質問【全体】

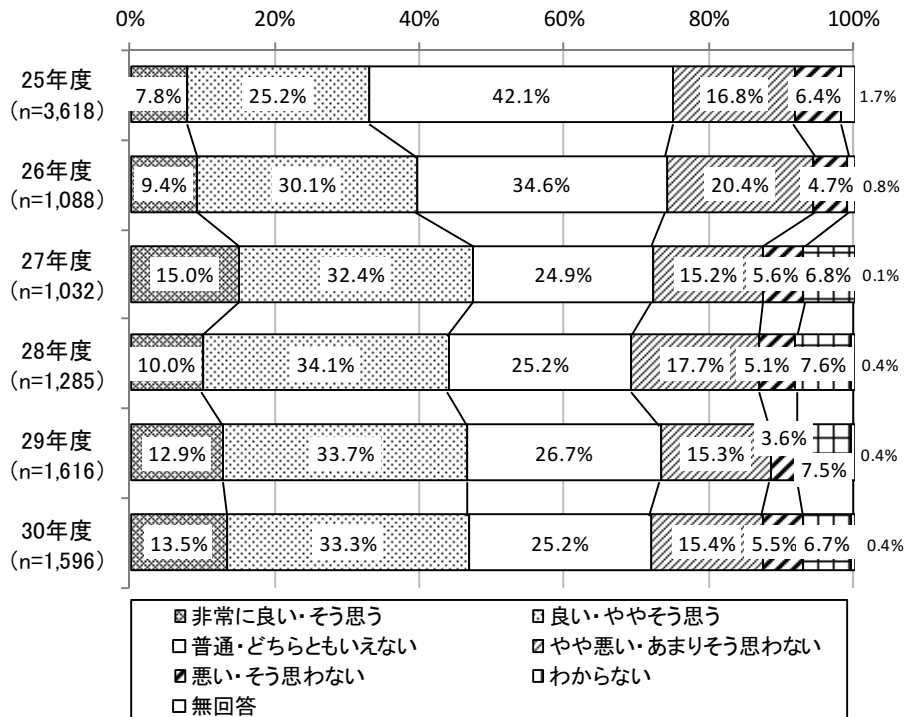
- (7) 子どもの発育や発達に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている。
- (8) 妊娠から出産、産後までの体調に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている。
- (9) 子育てに悩んだときに適切なアドバイスや支援を行う体制（仕組み）が整っている。
- (10) 子どもの病気に昼夜・休日を問わず適切に対応する医療機関が充実している。
- (11) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が充分提供されている。



基本目標 2 の評価は、「(7) 子どもの発育や発達に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている」が 3.36 点で最も高く、「(11) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が充分提供されている」が 2.90 点で最も低くなっています。

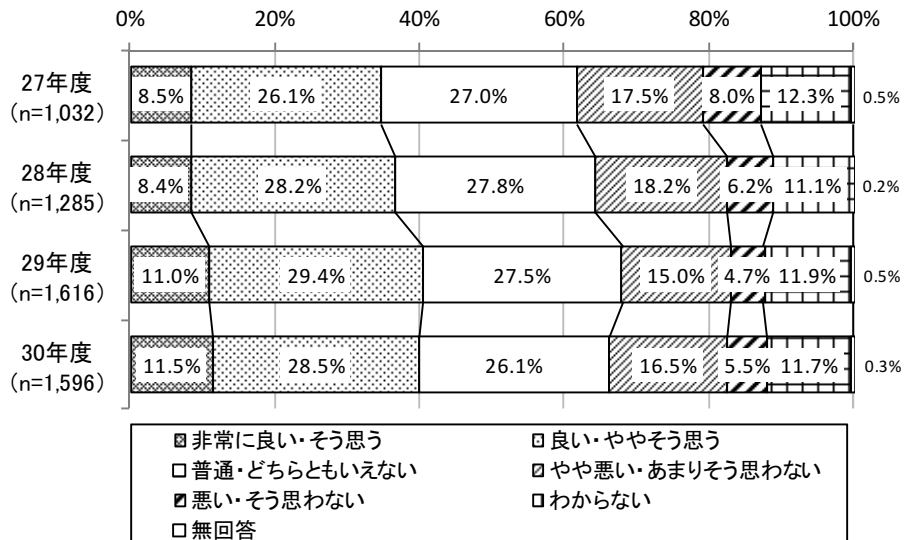
基本目標 2. すこやか子育て！に関する質問【経年変化】

(7) 子どもの発育や発達に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が 46.8%と昨年度と同程度となっています。

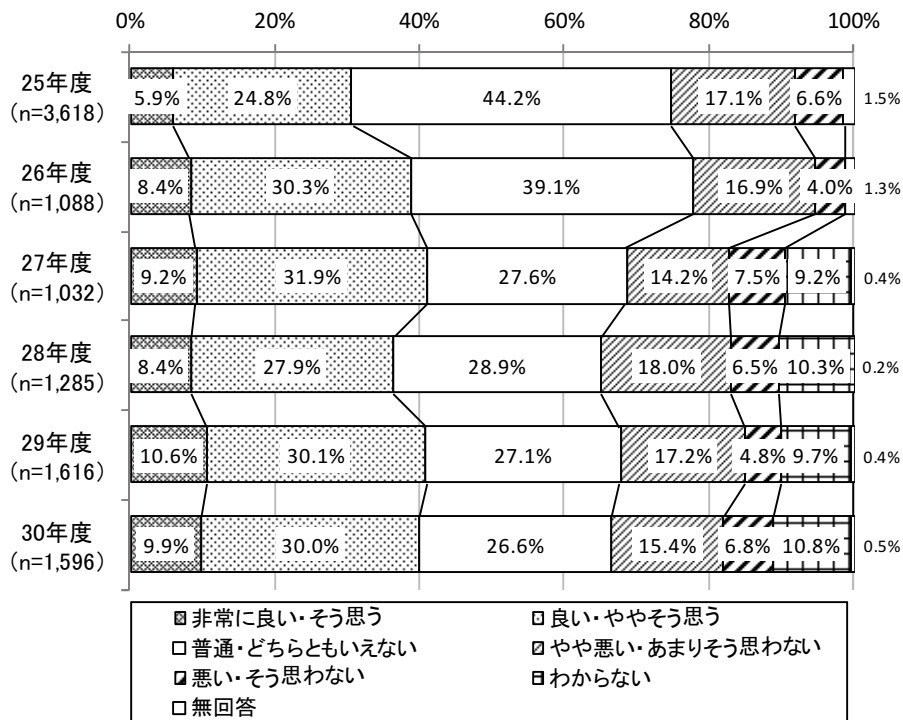
(8) 妊娠から出産、産後までの体調に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が 40.0%と昨年度と同程度となっています。

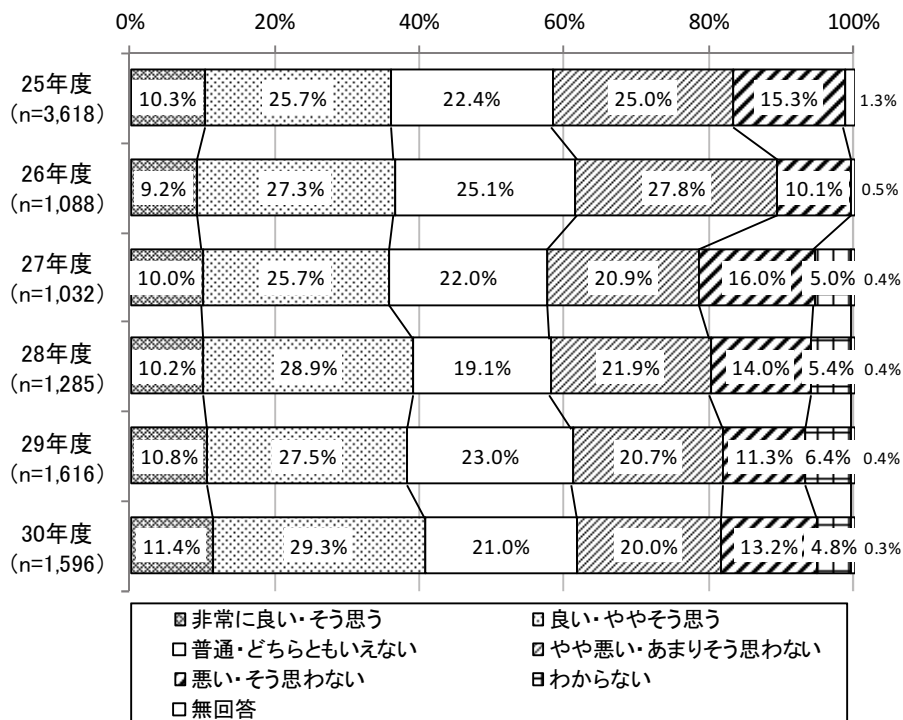
なお、この設問は平成 27 年度新規質問項目のため、平成 25 年度～平成 26 年度は調査を行っておりません。

(9) 子育てに悩んだときに適切なアドバイスや支援を行う体制（仕組み）が整っている。



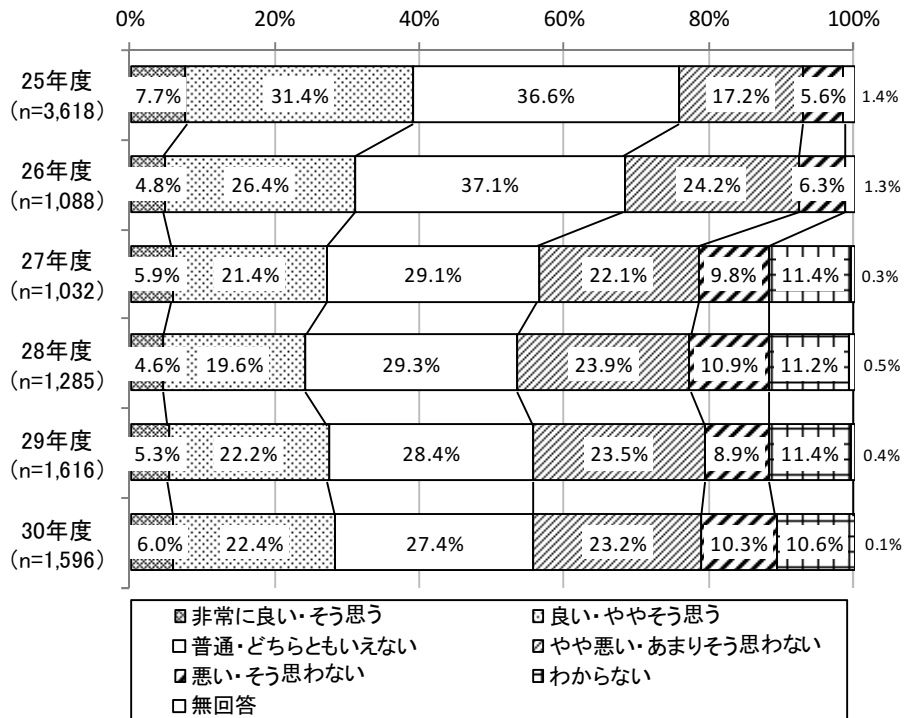
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が 39.9%と昨年度と同程度となっています。

(10) 子どもの病気に昼夜・休日を問わず適切に対応する医療機関が充実している。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が 40.7%と昨年度から微増となっています。

(11) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が充分提供されている。

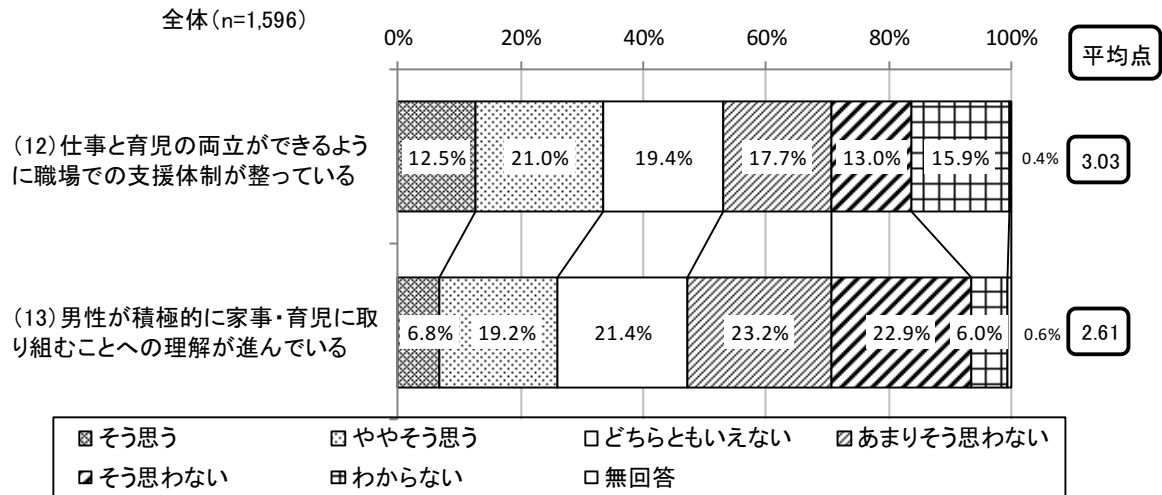


「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計を5.1ポイント上回っています。

基本目標3. いきいき子育て！に関する質問【全体】

(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている。

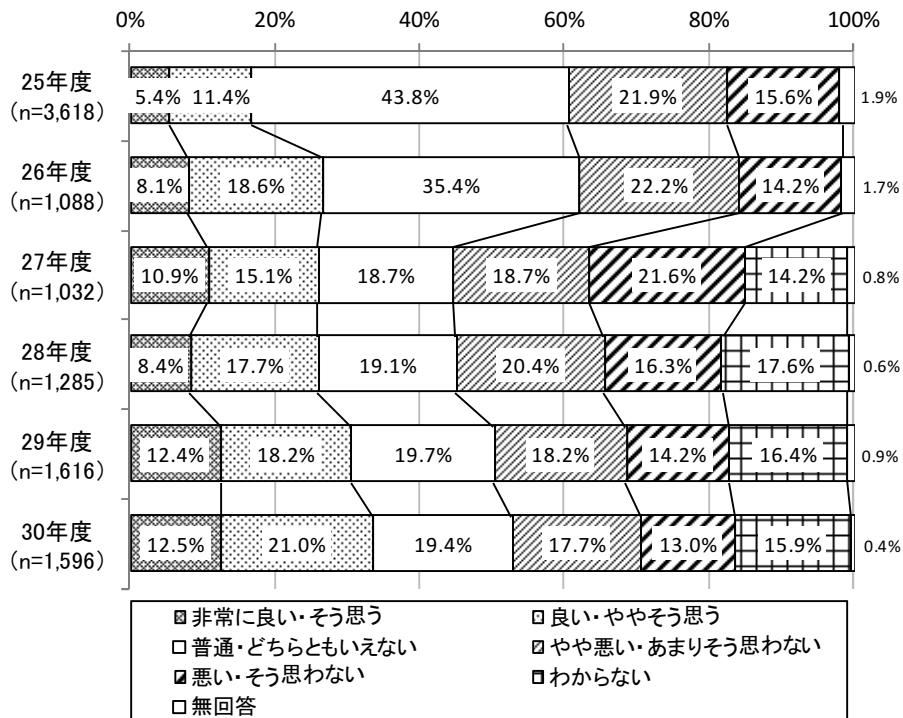
(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる。



基本目標3の評価は、「(12)仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている」は3.03点で「非常に良い・思う」「良い・やや思う」の合計が「やや悪い・あまり思う」「悪い・そう思わない」の合計が2.8ポイント上回っています。「(13)男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる」は2.61点と低くなっています。

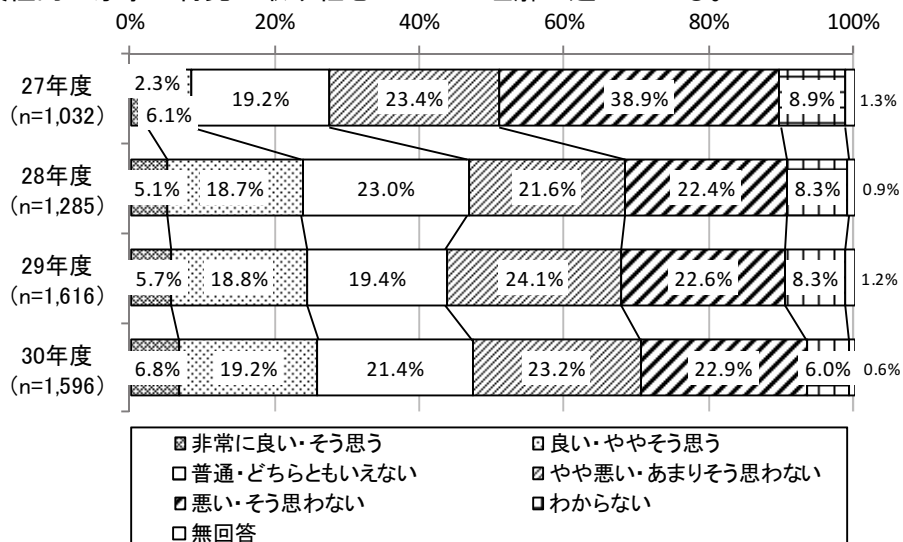
基本目標3. いきいき子育て！に関する質問【経年変化】

(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度から微増となっており、平成25年度以降はじめて、「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計を上回っています。

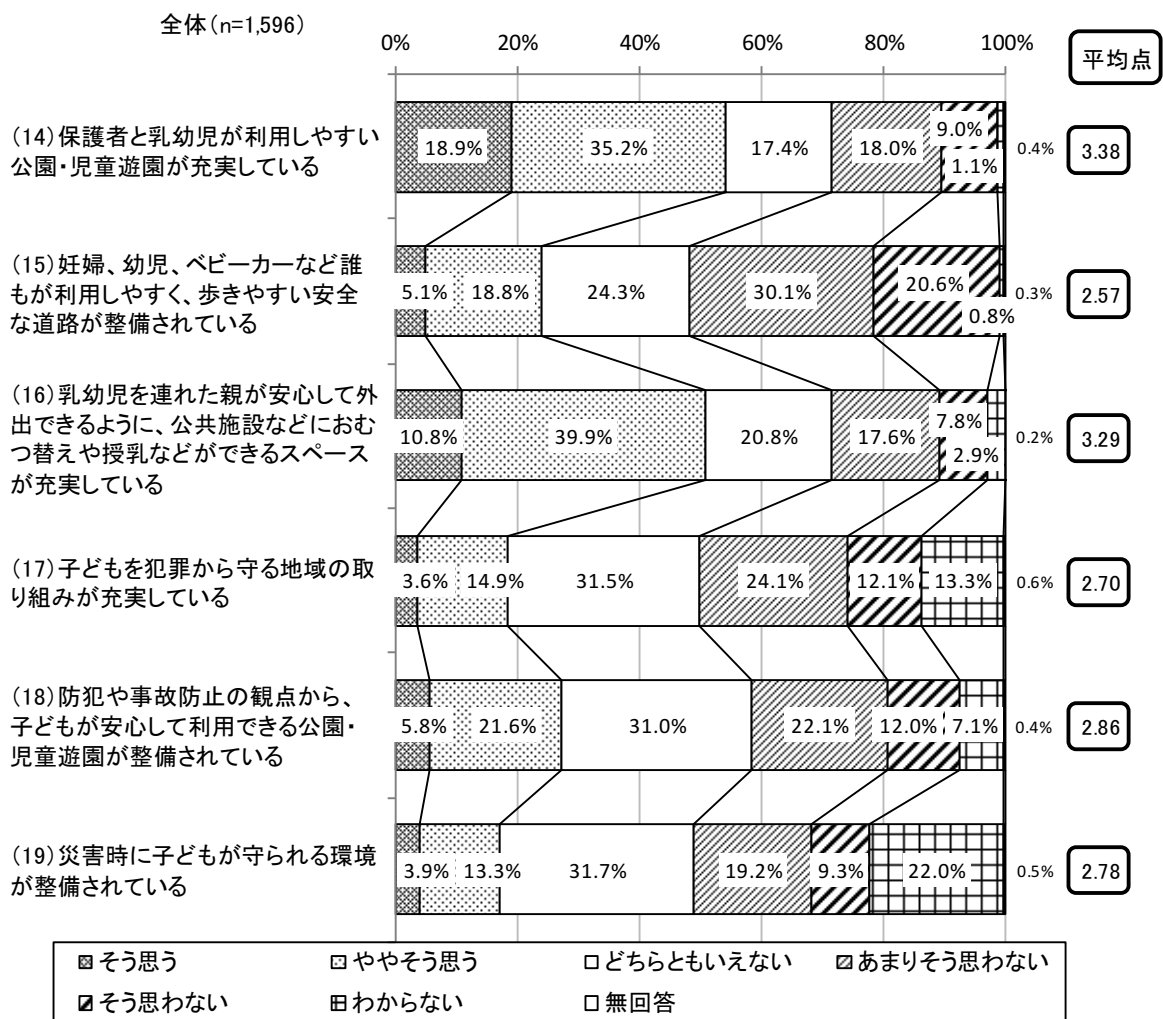
(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる。



「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計を20.1ポイント上回っており、経年でもその傾向が続いています。なお、この設問は平成27年度新規質問項目のため、平成25年度～平成26年度は調査を行っていません。

基本目標 4. あんしん子育て！に関する質問【全体】

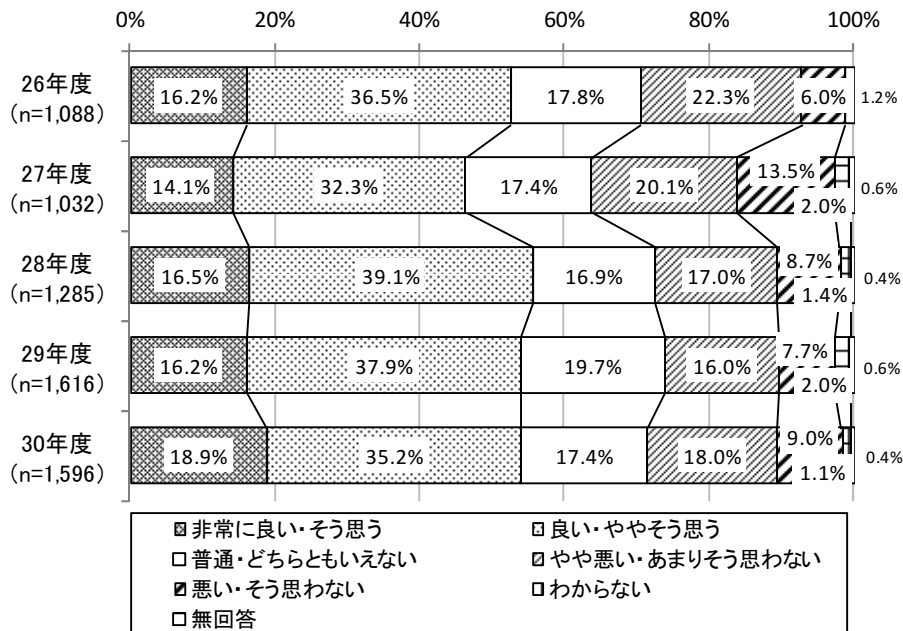
- (14) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している。
- (15) 妊婦、幼児、ベビーカーなど誰もが利用しやすく、歩きやすい安全な道路が整備されている。
- (16) 乳幼児を連れた親が安心して外出できるように、公共施設などにおむつ替えや授乳などができるスペースが充実している。
- (17) 子どもを犯罪から守る地域の取り組みが充実している。
- (18) 防犯や事故防止の観点から、子どもが安心して利用できる公園・児童遊園が整備されている。
- (19) 災害時に子どもが守られる環境が整備されている。



基本目標 4 の評価は、「(14) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している」が 3.38 点で最も高く、「(15) 妊婦、幼児、ベビーカーなど誰もが利用しやすく、歩きやすい安全な道路が整備されている」が 2.57 点で最も低くなっています。

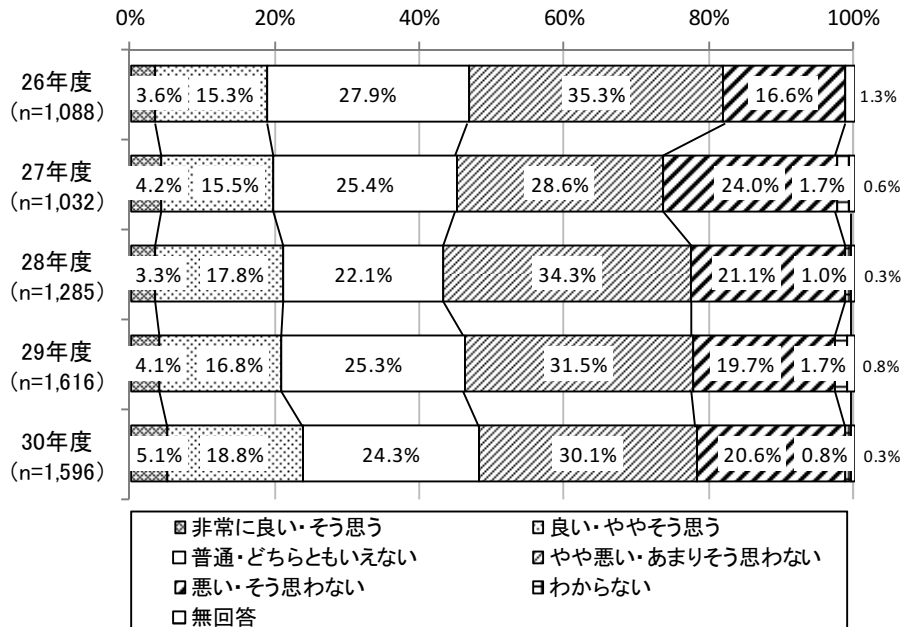
基本目標 4. あんしん子育て！に関する質問【経年変化】

(14) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している。



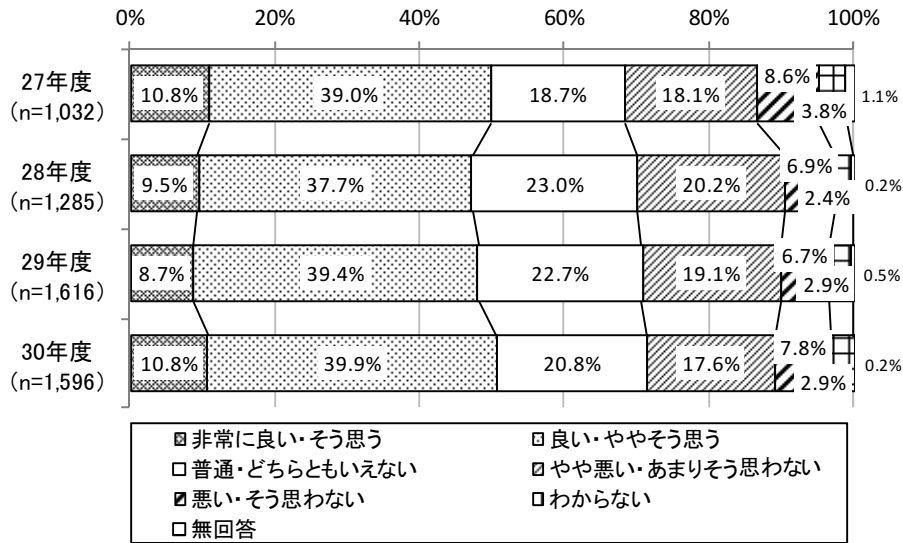
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度と同様となっていますが、「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が昨年度より 3.3 ポイント増加しています。なお、平成 25 年度はこの項目の調査を行っていません。

(15) 妊婦、幼児、ベビーカーなど誰もが利用しやすく、歩きやすい安全な道路が整備されている。



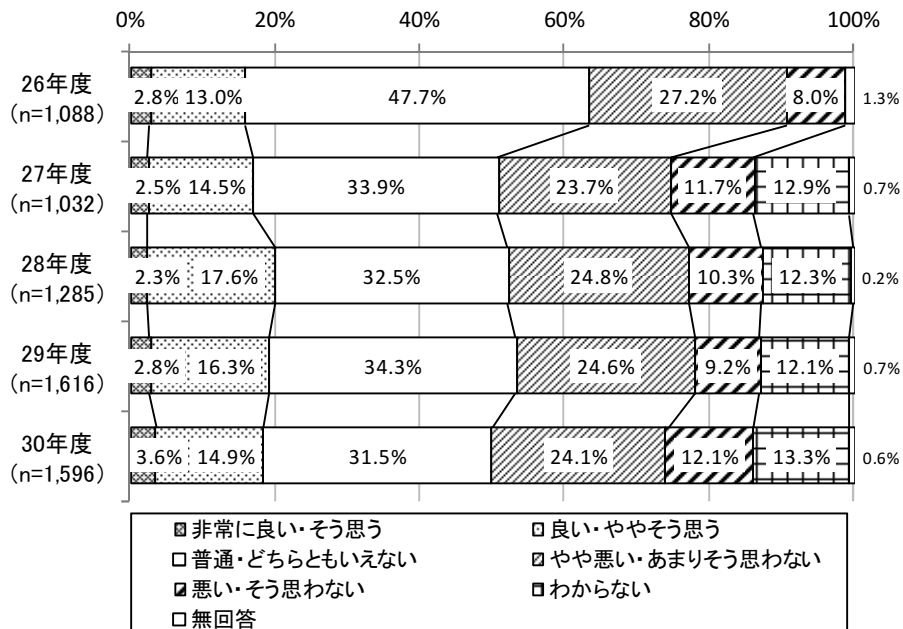
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度より 3.0 ポイント増加しています。なお、平成 25 年度はこの項目の調査を行っていません。

(16) 乳幼児を連れて親が安心して外出できるように、公共施設などにおむつ替えや授乳などができるスペースが充実している。



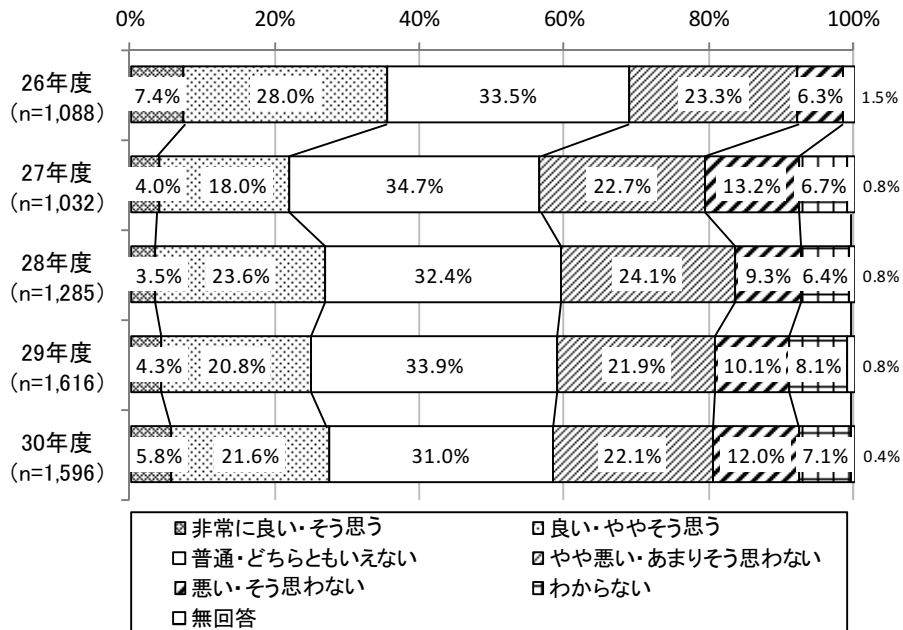
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度から微増となっています。
 なお、この設問は平成 27 年度新規質問項目のため、平成 25 年度～平成 26 年度は調査を行っておりません。

(17) 子どもを犯罪から守る地域の取り組みが充実している。



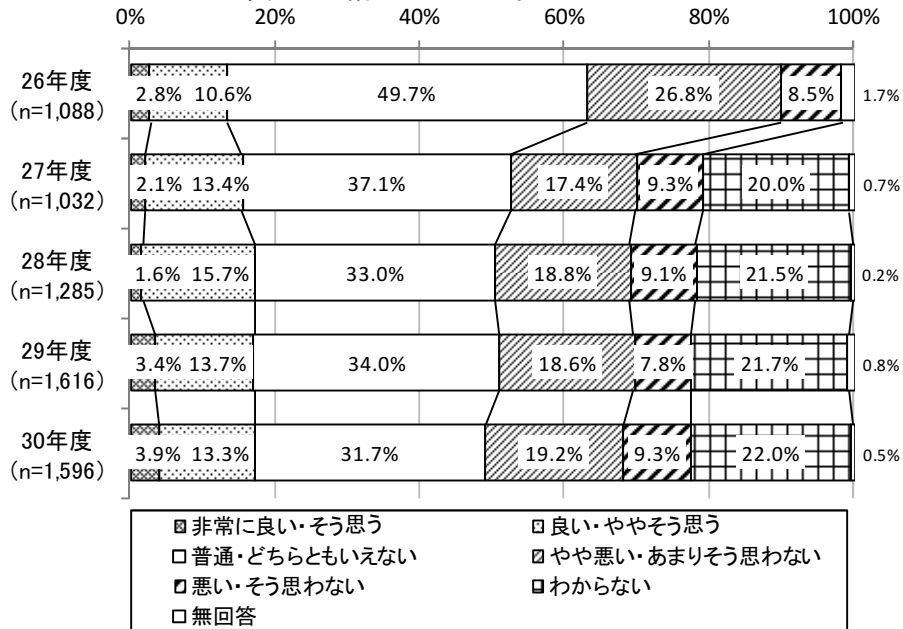
「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が昨年度から微増となっています。
 また、「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計を 17.7 ポイント上回っており、経年でもその傾向が続いています。
 なお、平成 25 年度はこの項目の調査を行っていません。

(18) 防犯や事故防止の観点から、子どもが安心して利用できる公園・児童遊園が整備されている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が昨年度から微増となっています。
 なお、平成 25 年度はこの項目の調査を行っていません。

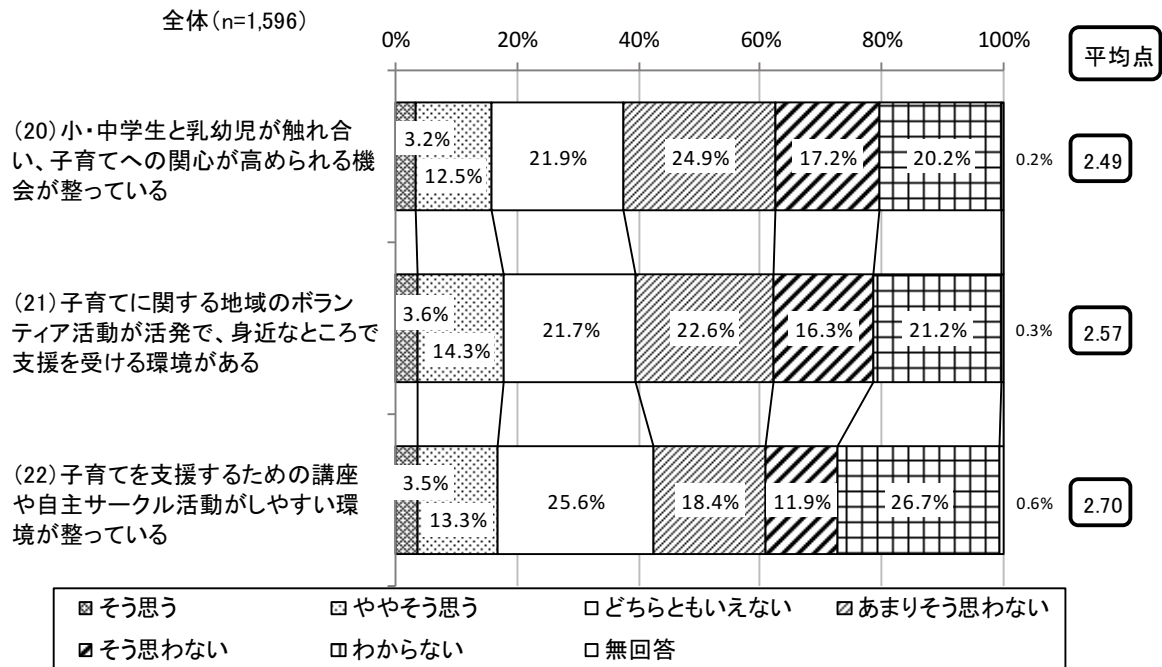
(19) 災害時に子どもが守られる環境が整備されている。



「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が昨年度から微増となっています。
 また、「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計を 11.3 ポイント上回っており、経年でもその傾向が続いています。
 なお、平成 25 年度はこの項目の調査を行っていません。

基本目標5. みんなで子育て！に関する質問【全体】

- (20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている。
- (21) 子育てに関する地域のボランティア活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境がある。
- (22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている。

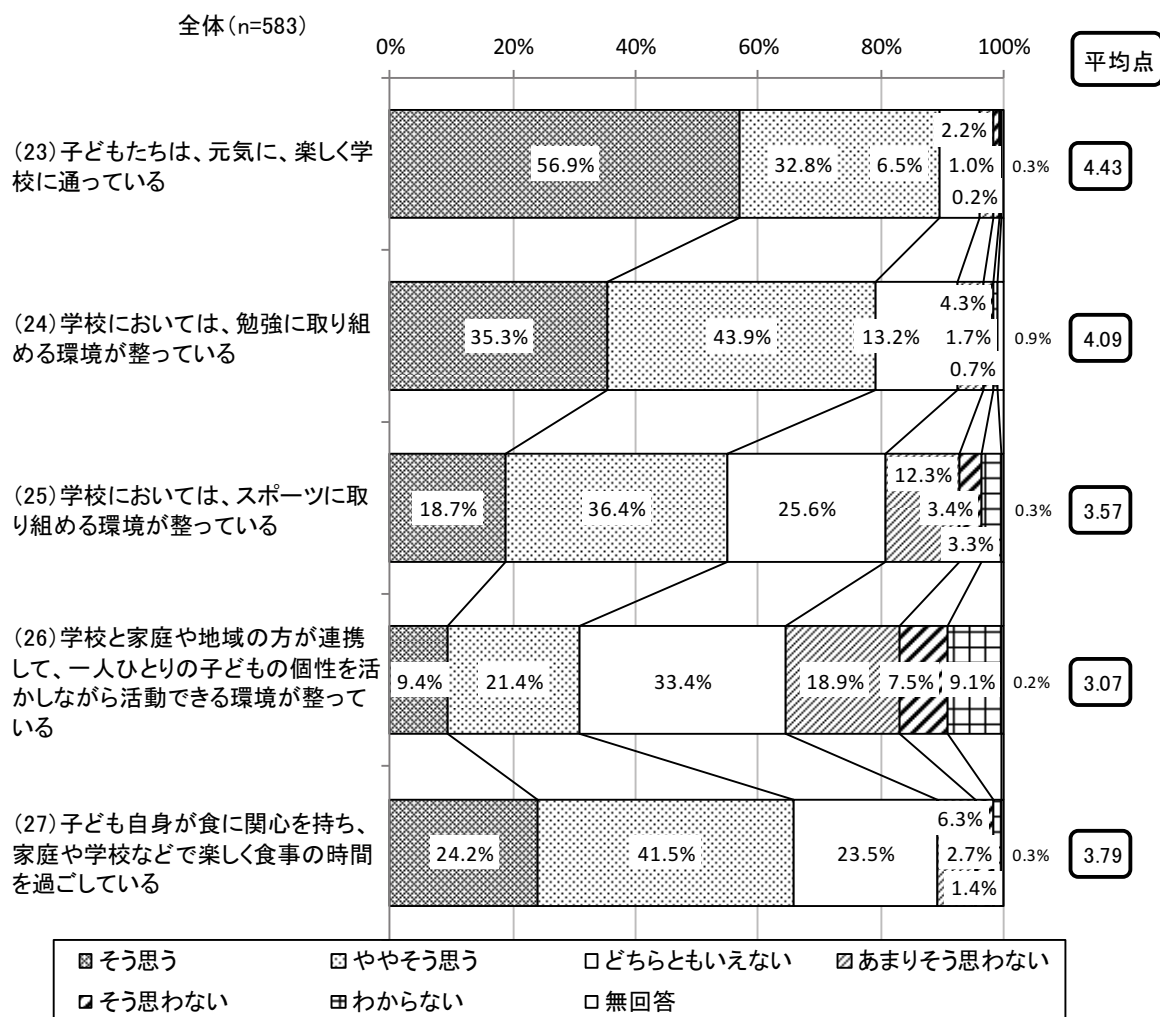


基本目標5の評価は、「(22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている」が2.70点で最も高くなっています。「(20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている」が2.49点で最も低くなっています。また、いずれの目標でも「わからない」が2割以上となっています。

※ (23)～(27)は、小学生以上のお子様がいる保護者の方にお尋ねします。

小学生以上のお子様がない保護者の方は(28)にお進みください。

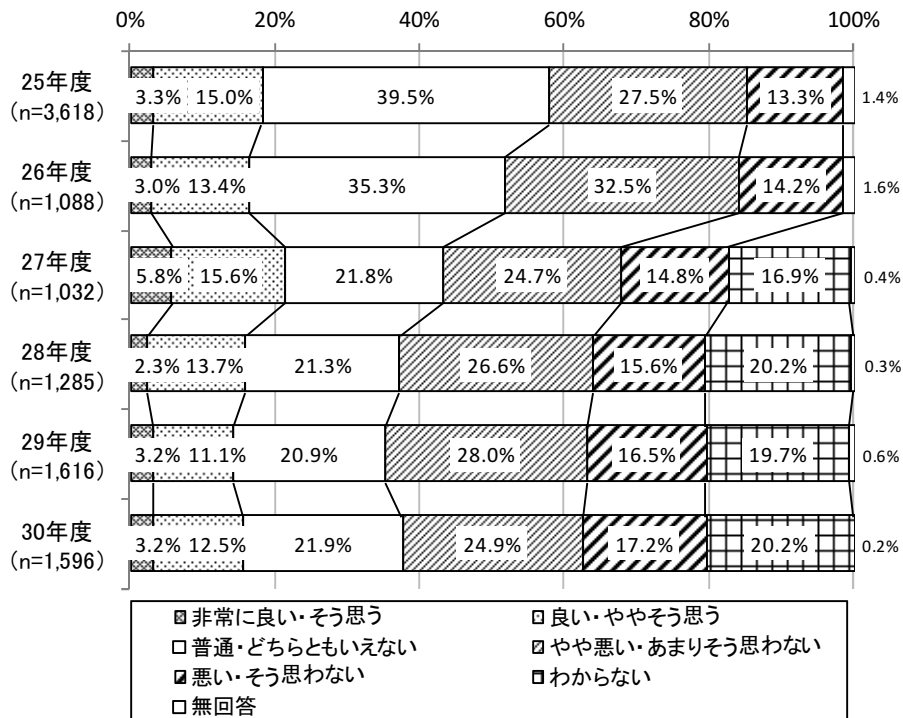
- (23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている。
- (24) 学校においては、勉強に取り組める環境が整っている。
- (25) 学校においては、スポーツに取り組める環境が整っている。
- (26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人ひとりの子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている。
- (27) 子ども自身が食に関心を持ち、家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。



基本目標5で、小学生以上のお子様がいる保護者に尋ねた評価は、「(23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている」が4.43点で最も高く、「(26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人ひとりの子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている」は3.07点と、最も低くなっています。

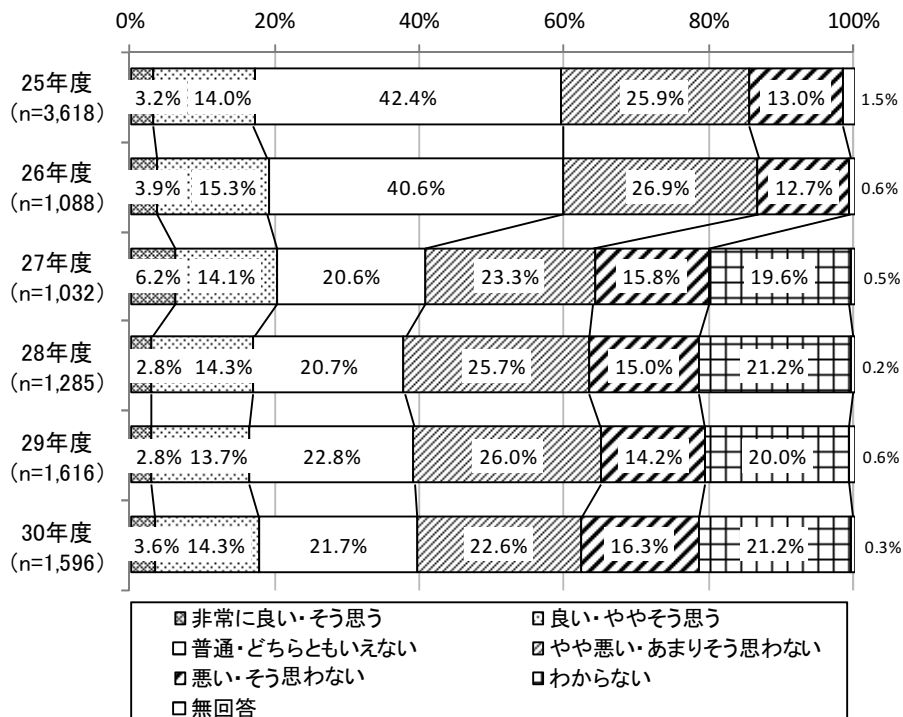
基本目標5. みんなで子育て！に関する質問【経年変化】

(20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている。



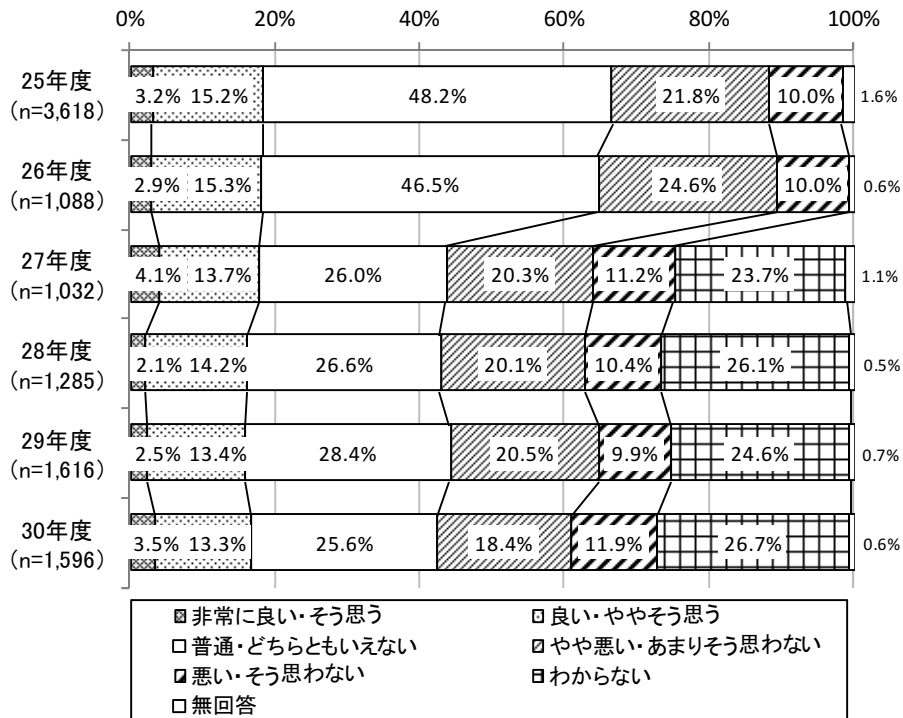
「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計を26.4ポイント上回っており、経年でもその傾向が続いています。

(21) 子育てに関する地域のボランティア活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境がある。



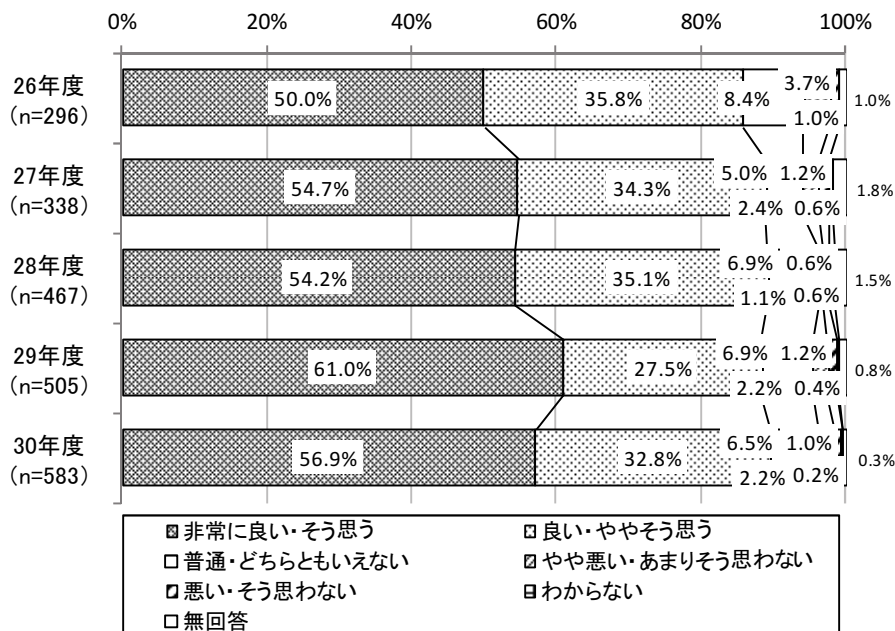
「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計を21.0ポイント上回っており、経年でもその傾向が続いています。

(22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている。



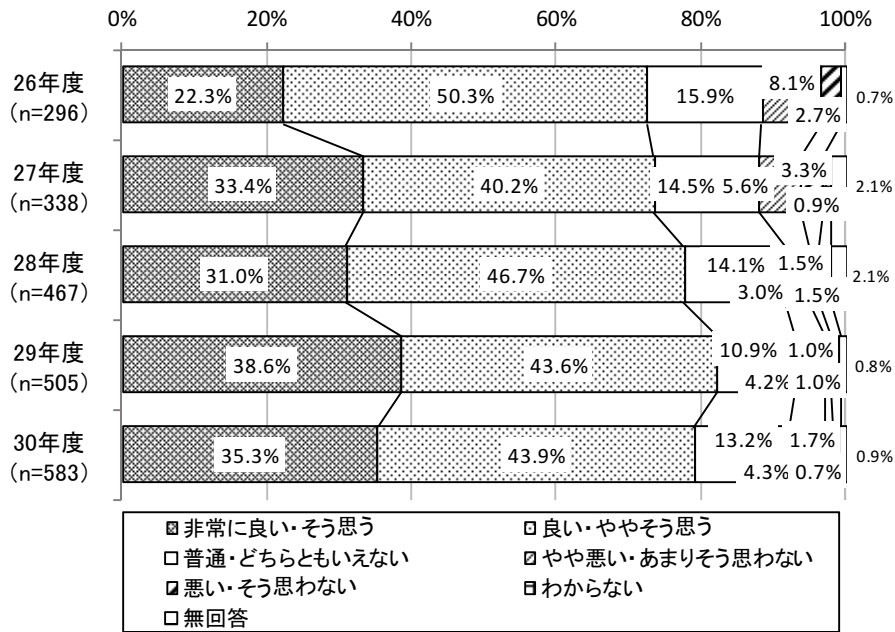
「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計を13.5ポイント上回っており、経年でもその傾向が続いています。

(23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている。



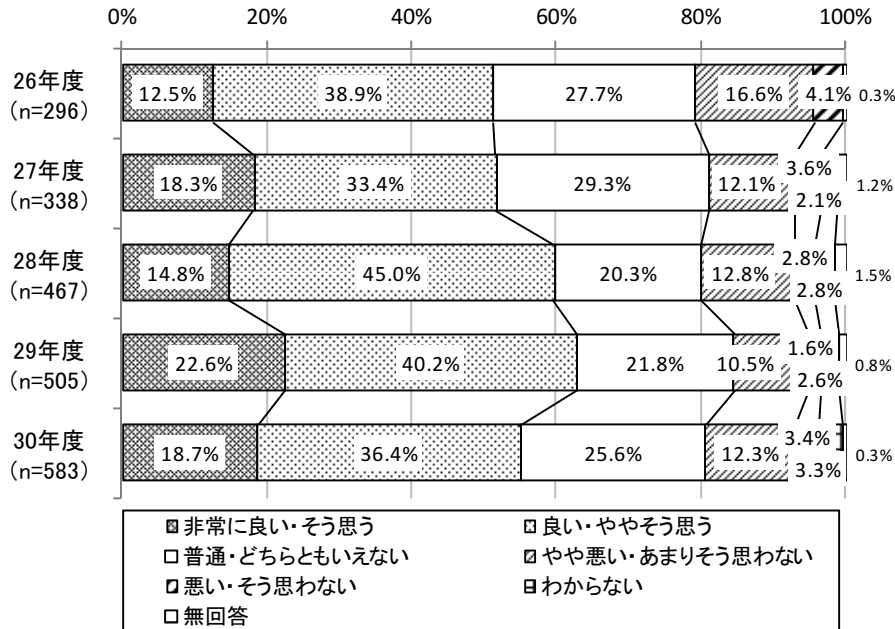
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が昨年度から微増となっています。

(24) 学校においては、勉強に取り組める環境が整っている。



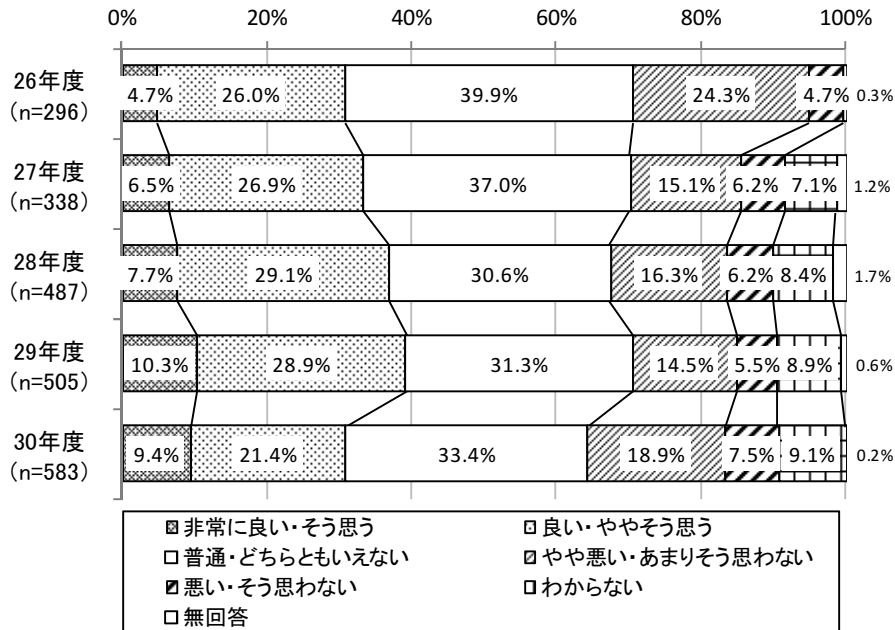
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度より 3.0 ポイント減少しています。

(25) 学校においては、スポーツに取り組める環境が整っている。



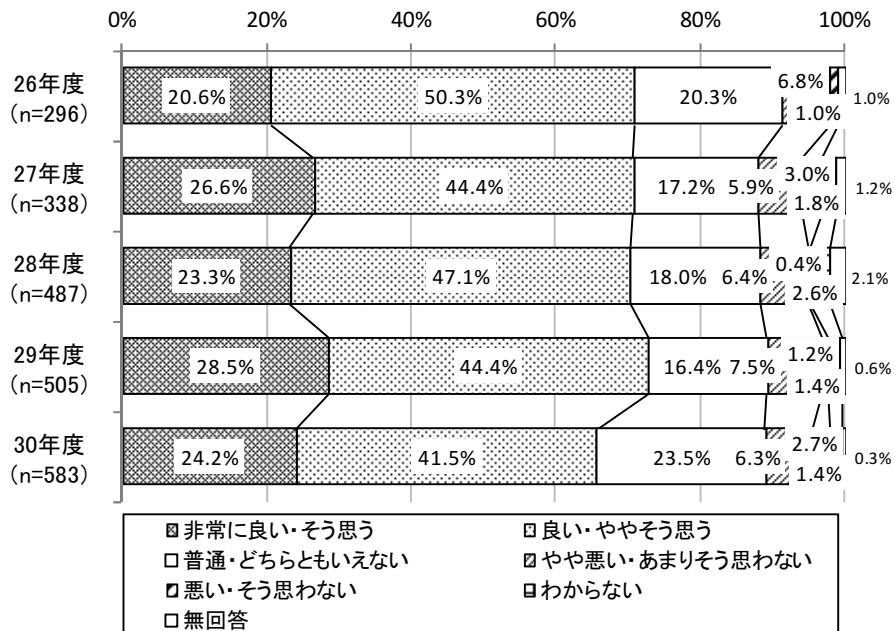
「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度より 7.7 ポイント減少しています。

(26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人ひとりの子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度より 8.4 ポイント減少しています。

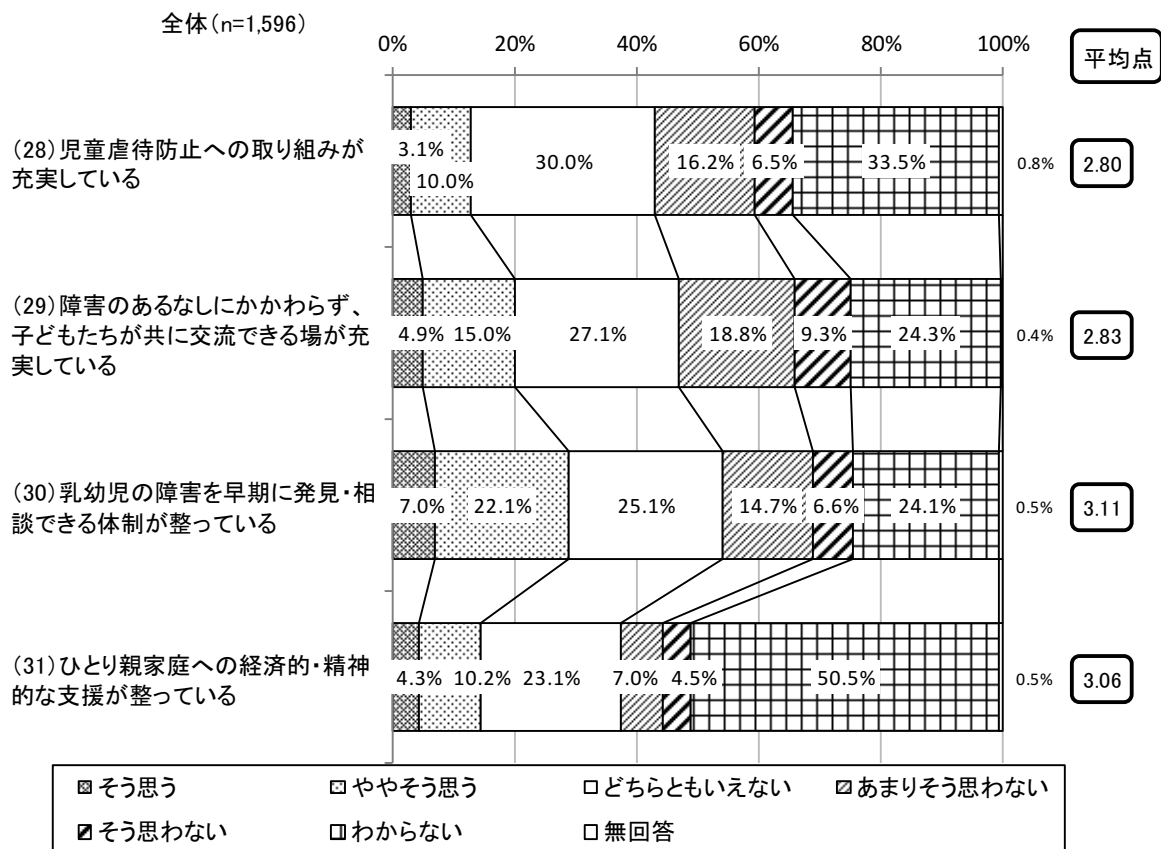
(27) 子ども自身が食に関心を持ち、家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計は昨年度より 7.2 ポイント減少しています。

基本目標6. つながる子育て！に関する質問【全体】

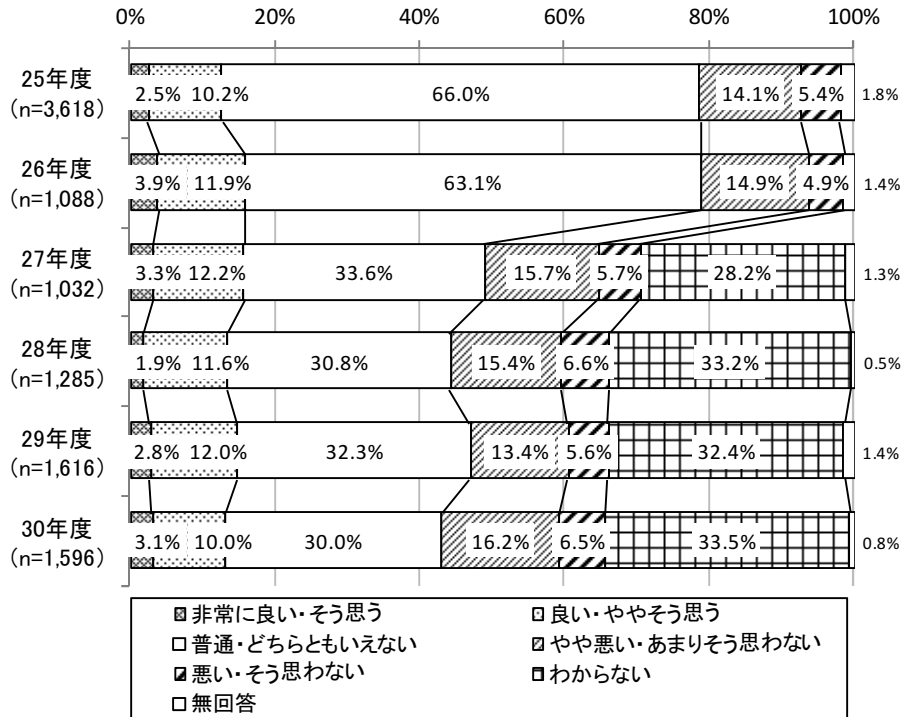
- (28) 児童虐待防止への取り組みが充実している。
- (29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している。
- (30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている。
- (31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている。



基本目標6の評価は、「(30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている」が3.11点で最も高くなっており、「(28) 児童虐待防止への取り組みが充実している」が2.80点で最も低くなっています。また、すべての目標で、「わからない」が2割を超えており、「(31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている」で50.5%、「(28) 児童虐待防止への取り組みが充実している」で33.5%と特に高くなっています。

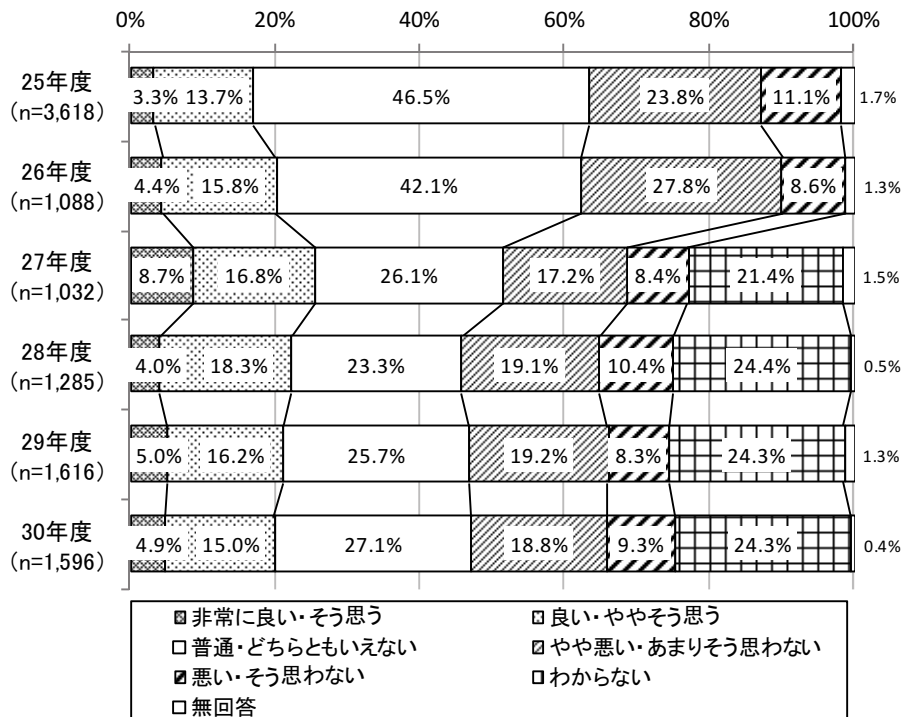
基本目標6. つながる子育て！に関する質問【経年変化】

(28) 児童虐待防止への取り組みが充実している。



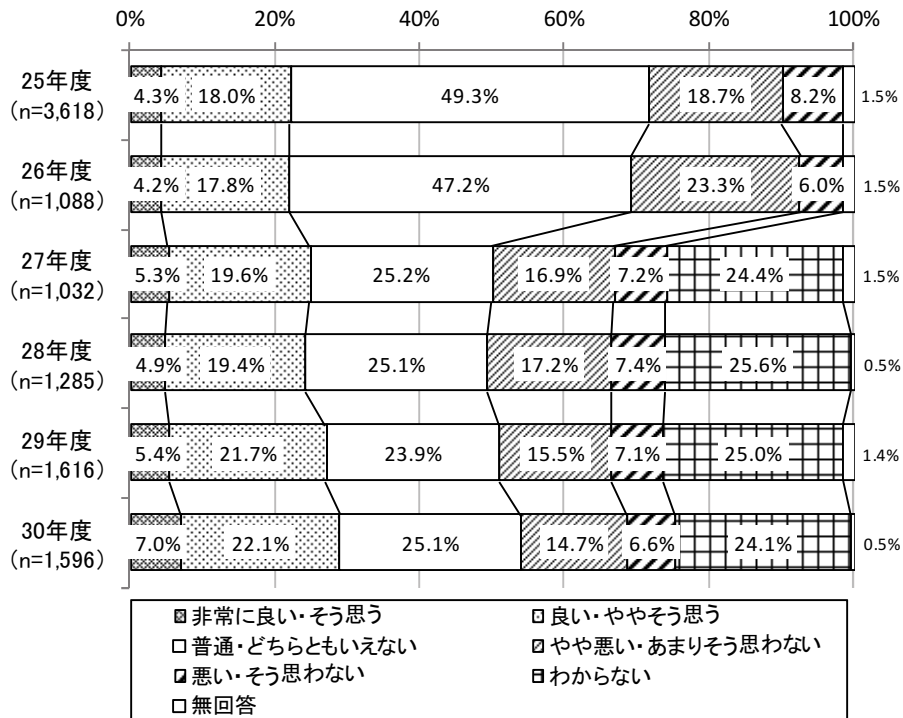
「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計を9.6ポイント上回っており、経年でもその傾向が続いています。

(29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している。



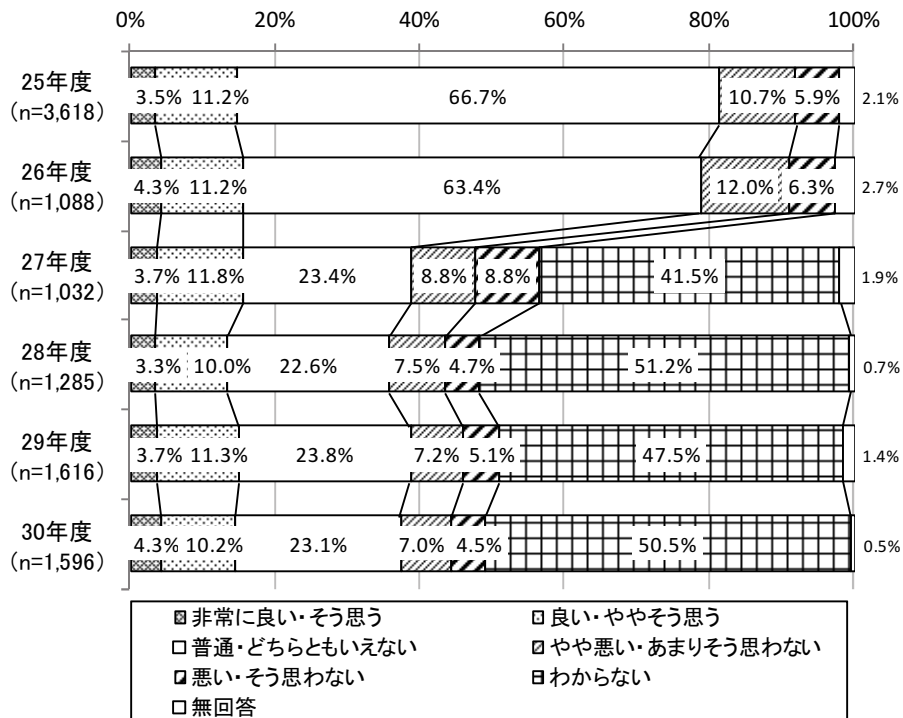
「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計を8.2ポイント上回っており、平成28年度以降その傾向が続いています。

(30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている。



「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が昨年度から微増となっています。

(31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている。

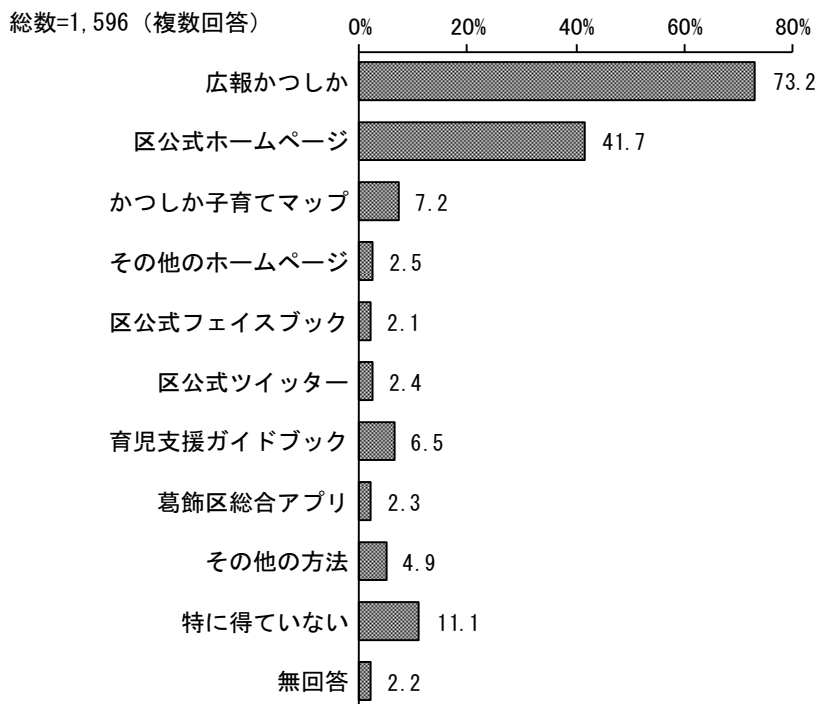


「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が昨年度と同程度となっています。

5 子ども・子育て支援に関する情報提供について伺います。

(32) 子育てに関する区の情報をどのように得ていますか。(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | | |
|-------------------|---------------|---------------|
| 1. 広報かつしか | 2. 区公式ホームページ | 3. かつしか子育てマップ |
| 4. その他のホームページ () | 5. 区公式フェイスブック | |
| 6. 区公式ツイッター | 7. 育児支援ガイドブック | 8. 葛飾区総合アプリ |
| 9. その他の方法 () | 10. 特に得ていない | |

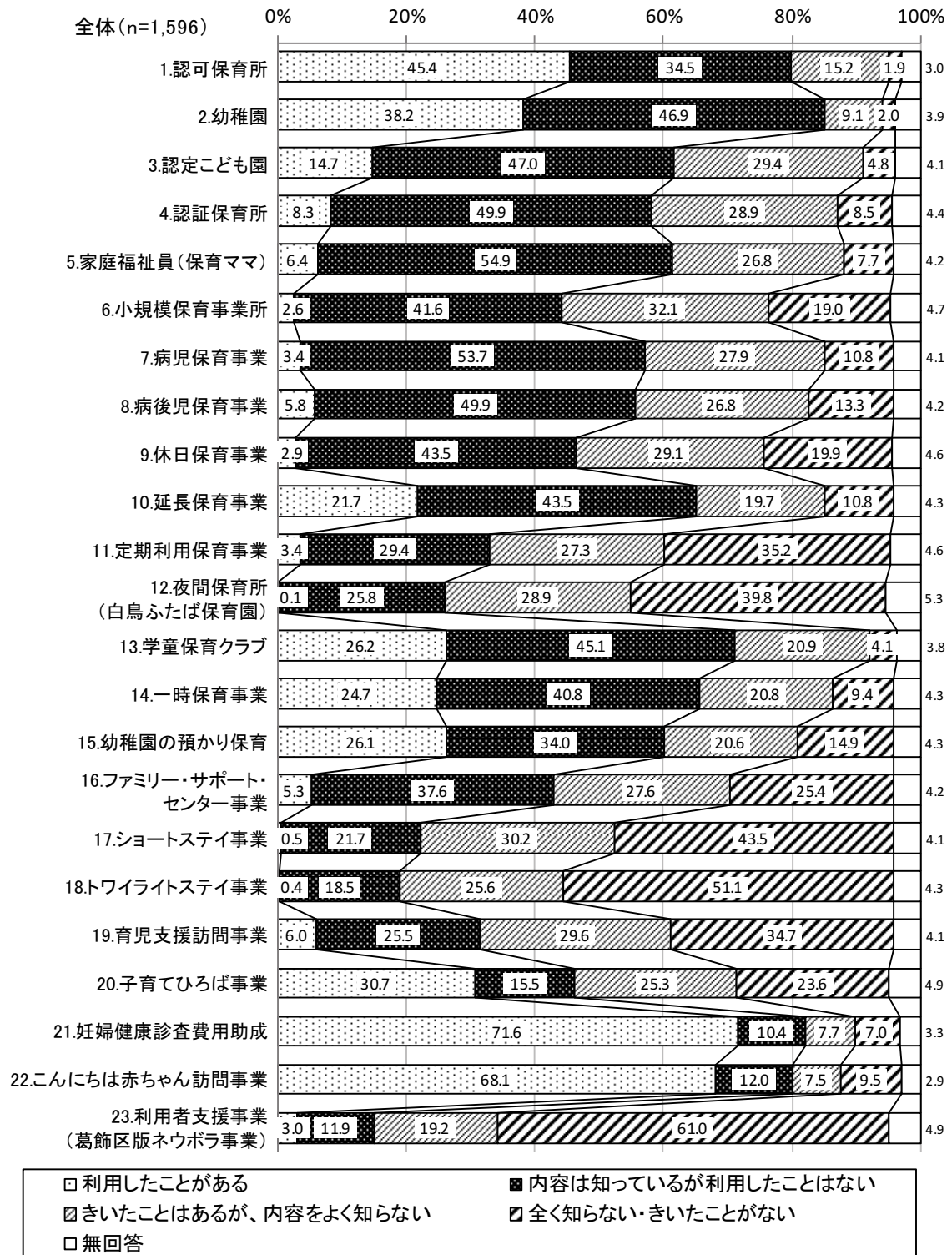


子育てに関する区の情報の入手先は、「広報かつしか」が73.2%で最も多く、次いで「区公式ホームページ」が41.7%でした。その他の媒体はいずれも10%未満となっています。

また、「4. その他のホームページ」の具体的回答では、「児童館のホームページ」「未来えんじん」が挙げられました。

「9. その他の方法」の具体的回答では、「児童館」「ママ友」「友人／知人から」「保育園」が上位に挙げられました。

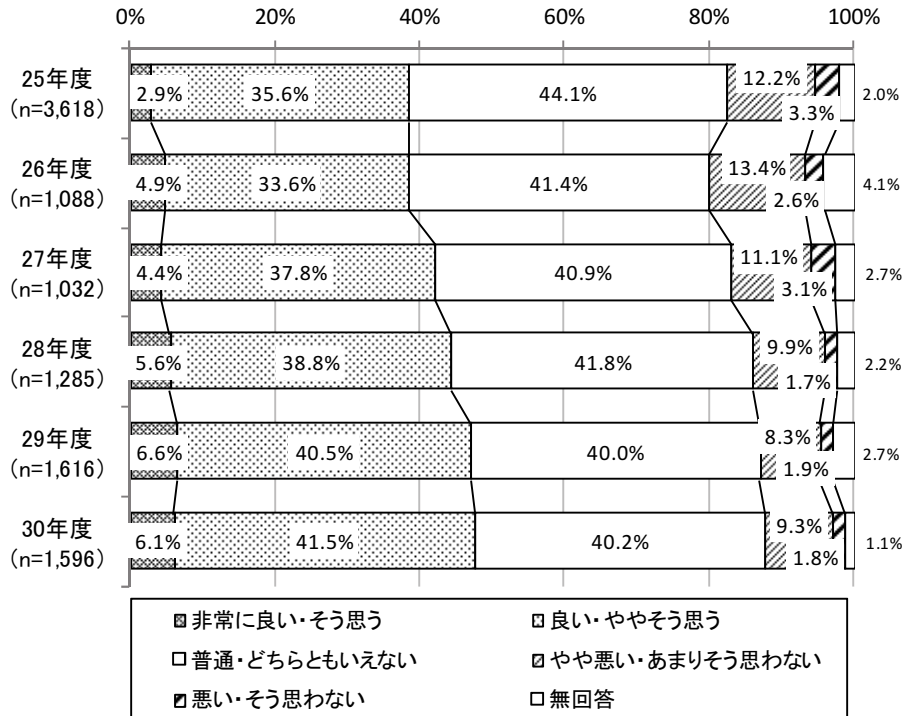
(33) 区で実施している子ども・子育て支援に関する事業を知っていますか。



区で実施している子ども・子育て支援に関する事業について尋ねたところ、「妊婦健康診査費用助成」では71.6%が、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」では68.1%が「利用したことがある」と回答しています。一方、「全く知らない・聞いたことがない」事業として、「利用者支援事業(葛飾区版ネウボラ事業)」が61.0%、「トワイライトステイ事業」が51.1%、「ショートステイ事業」が43.5%となっています。

6 子育て環境についてお伺いします。

(34) 安心して子育てができる環境について、葛飾区を総合的にどのように評価しますか。【経年変化】



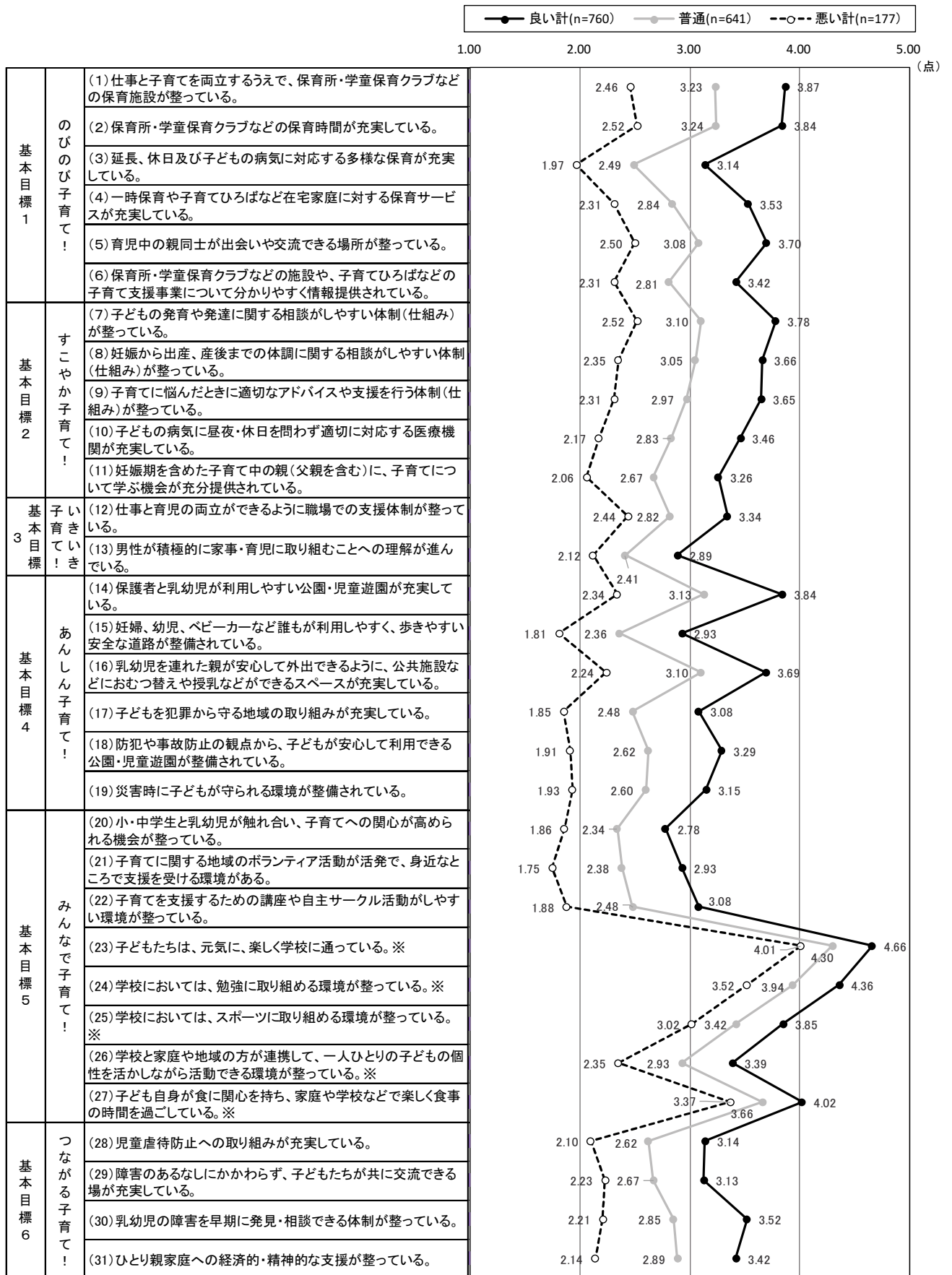
総合的な評価は、「非常に良い・そう思う」「良い・ややそう思う」の合計が 47.6%、「やや悪い・あまりそう思わない」「悪い・そう思わない」の合計が 11.1%となっており、昨年度と同程度の評価となっております。

また、次ページに図示した総合的な評価別の各目標の平均点を見ていくと、「良い計（非常に良い、良い）」と回答した方は、「(1) 仕事と子育てを両立するうえで、保育所・学童保育クラブなどの保育施設が整っている。」「(14) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している。」「(16) 乳幼児を連れた親が安心して外出できるように、公共施設などにおむつ替えや授乳などができるスペースが充実している。」で平均点が高く、「悪い計（やや悪い、悪い）」と回答した方と比べて平均点の差も大きくなっており、評価された要因となったことが伺えます。

なお、次ページの図は、(34) で、「良い (98 人)」「やや良い (662 人)」の回答を合わせた「良い計 (760 人)」、「普通 (641 人)」、「やや悪い (149 人)」「悪い (28 人)」の回答を合わせた「悪い計 (177 人)」の 3つのグループ別に、(1) ～ (31) までの平均値を算出し、図示しています。

ただし、(23) ～ (27) は、小学生以下のお子様がいる方だけの設問のため、各グループの人数は、「良い (31 人)」「やや良い (235 人)」を合わせた「良い計 (266 人)」、「普通 (243 人)」、「やや悪い (55 人)」「悪い (12 人)」を合わせた「悪い計 (67 人)」となります。

※下図は、(34)の総合的な評価で「良い計(非常に良い、良い)」「普通」「悪い計(やや悪い、悪い)」の回答別に、(1)～(31)までの平均値を算出し、図示しています。



※(23)～(27)は、小学生以上のお子様がいる方だけの回答のため、各グループの人数は、「良い計(n=266)」「普通(n=243)」「悪い計(n=67)」となります。

子育て支援に関する意見・要望

それぞれの意見・要望を、区の子育て支援の「基本目標」に従って分類し、主な意見をまとめました。
なお、文意を損なわない範囲で要約や表現の変更を行っています。

基本目標 1 のびのび子育て！

- 学童も安心して入れる枠の確保と、質も担保してほしい。小学校のもろもろの仕組みについて共働き家庭が多くなっていることを考慮して改革してほしい（昔のままだと成り立たない）。
- 保育園、幼稚園、小学校入学などを控えている家庭への入学までの流れなど、もっと早めに教えてもらいたい。知人から聞くことはできても正式なことは区からの知らせが確実だと思うので。上の子がいないと要領がつかみにくい。
- これからも希望する人が保育所に入れ、仕事と育児が両立できるよう、必要なところに保育所を設置していただきたいです。病児保育は他区よりは多いと思いますが、電車に乗せて連れて行かねばならないのが現状です。各駅に1か所ずつ設けるなど、さらに増やしていただくと安心です。保育所に入れられないと、仕事をやめなくてはならないので保育所に入れるかは子供がいる家庭にとっては死活問題です。これからも更なる保育所の拡充と子育て支援の充実をおねがいたします。
- 病児、病後児保育に限られた保育所でしか実施されていないので、もう少し利用しやすく広げて数も増やして欲しい。学童保育も時間を20:00頃まで、また確実に入会できるように整備してほしい。職場が遠い人などは、18時頃までに帰宅することが難しい。なので、時間の延長は是非検討して欲しい。
- あたりまえかもしれませんが、積極的に情報を得ようとしないう限り情報が入ってきません。実際の区からの情報よりママ友からの情報の方がわかりやすく、内容が濃いです。そのママ友から話を聞くと区からの情報ではわからないことが多く問い合わせをよくすると聞きました。妊娠中、出産後すぐは子育て支援に関していろいろ話をされますが子供が1歳、2歳になるにつれ情報の入りやすくなります。そのため情報の提供方法に関して考えてもらいたいです。
- 子どもが0歳の時保健所の月齢児の会に参加しましたが、おもしろみがなく通うのをやめてしまいました。その後参加した子育てひろばはとても楽しく、スタッフや他のお母さんと話をすることで不安や悩みもなくなり今でも交流が続いています。以前保育園で体験保育を利用しましたが、区立保育園は先生方に余裕がないのか着替えもトイレも給食も「早くして！」ばかりで、途中の手遊びも古くおもしろくなかったが、民間の保育園は先生方も笑顔で余裕があり楽しい雰囲気でした。ワクチャレを全校1年生からにしてほしい。
- 家のカギの管理がまだできない低学年は、共働きの親と一緒に家を出発する必要がある。夏・冬休みだけは学校の登校と同じく8時05分からにすべきだ（18:00～19:00の延長があるので、8:00～8:30の延長もあってはいかがだろうか？ 学童の前で数名開所をまっている子がすでにみられるそうです。熱中症などにより死亡がでるまえに改善すべきとお知らせします）。
- 幼稚園（私立）に入ってから仕事（パート）をできると思っていたら、入園後に預かり時間（延長する保育）が短くなり辛い日々です。働く母が悪いのかもしれないけど、お金持ちではないので、働きやすい環境がほしいです。
- 公立幼稚園が少なすぎる。一時保育の利用が困難に感じる（手続き、用意する物が多過ぎる）。子育てにいき詰まりを感じても、どこに相談できるのか知られていないというより、見つけられない。HP等、もっと分かりやすく見つけられるボタン等欲しい。うつ状態等、普通じゃない時は文字もよくわからなくなるというか、平静ではないので、簡単なことも理解できないし、認識できないです。
- 母親が仕事ができるように夜間の預け入れも学童であるとよい。親が夜間勤務の仕事が出来ない。他の千葉県の方では、夜間も預け入れが出来る施設があります。
- ネウボラは全く知らなかったなので、利用できるならば周知してほしいです。仕事以外でも保育園など利用できる（土日に）仕組みがあると大変ありがたいです。平日はフル回転でぐったりで、半日でも1人でいられる時間（家事、片づけ他）がほしいので。今は1h1200円の有料保育を利用していますが費用が大変です、祖父母や頼れる人がいないので。全体としてはいろいろ利用できるものもあり、職員の人も親切で助かっています。

- 学童保育を、もっと増やしてほしい。短時間のパートだと、どうしても点数が足りなくて、あずかってもらうことがむずかしい。せめて、夏休み等の長期の休みの間にあずかってくれる場所を増やしてほしい。
- 区のHPが見づらい。情報が多すぎるのか、目的の場所にたどりつけない。写真つきのページを増やしてもらえると、もう少し分かりやすいかと思う。
- 児童館や図書館の開始時間を10時ではなく9時~にして欲しいです。
- 入園前に一時保育を利用しようとした際、定期利用保育を待機児童にあてている？と説明があり、利用できず、高砂の一時保育を利用しました。かなり遠く、大変でした。保育園側からは「今年は…」とお話があったので、一覧表から外すなりしてくれれば良いのにと思いました。また、保育園によって「親のリフレッシュ休暇」への理解度が差があり、葛飾区内で統一してほしいです。通っている保育園は全く理解がなく、そこだけが難点です。
- 安全面を考えて、葛飾区内の全小学校で小学校内に学童ができることを希望します。また、時間は18:30~19:00頃までに延ばしてほしいです。
- 学童の三期休業中の預かり開始時間がもう少し早くなるとありがたい。保育園の開所時間と同じにしてほしいとは言わないが、あと30分(8時)早めてもらえたらと思う。病児保育、病後児保育がもっと増えると良いと思う。
- 病児保育、病後児保育が少ないため、もう少し充実し利用しやすくなるとありがたいです。特に病後児保育は普段通っている保育園にあるとありがたいです。また、ファミリーサポートの登録をしようとした際には「人が足りない」ような事を言われました。こちらもう少し利用しやすくなるとありがたいです。

基本目標2 すこやか子育て!

- 子供が当日熱を出した時に、病児保育が前日予約だと困る。前日の時点では熱がないと予約もしないので。当日に病児保育を利用したいことが結構ある。区の歯科検診(1歳と1歳半?)が平日開催のようなので、働いていると子どもを連れて行くことができない。土日にもやってほしいです。
- 休日、夜間など、病院の診療時間が終了してから診察してもらえるところがあると助かります(金町休日診療は21時半で終わってしまうので、その時間以降で)。
- 子供の発達について保健センターに電話で相談したら、集団の育児相談、発達相談(いずれも1ヶ月後)を案内されたが、出来れば迅速に個別に対応してもらえるとうり難い。
- 育児相談が月1回しかなく、受付時間も朝早い1時間しかないので、行きたくても行けないことが多いです。日を増やしていただくか時間を広げてほしいです。小規模保育所を利用していますが、育休中の利用は時間短縮や土曜保育してもらえないことがありました。下の子の産後、不安定な精神状態の時、母親の心のサポートはしてもらえないのかと思いました。子育ての迷い悩みのある母の心に寄りそう対応をお願いしたいです。
- 妊娠、育児期は色々な支えがあったように感じるが、産後のケアが薄い。育児ノイローゼになりそうだったが初めての育児で誰にどこで相談したら良いかわからなかった。1歳で子供を保育所に預け働き出してからようやく自分を取り戻せたように感じている。専業主婦だったらどこにも辛さのほけ口がなく、子供に手を上げてしまったかもしれない。育児が辛いと感じること自体がストレスで、もっと産後のケアがあったら楽しめたのに、と今になって思う(産院の入院期間5日は短すぎるし、家に帰ってからも寝る時間を確保できるようなサポートが欲しい)。
- 育児で悩む親が経験者や親同士で助け合えるような場、学べる機会などもっと設けて欲しい。専門家は大切ですが、近い存在の励ましというのも力になります。子どもに対する支援環境は整備されつつありますが親自身が元気になれるような支援体制がもっと整えていけると嬉しいし、助かります。

基本目標3 いきいき子育て!

- 父親が子育てに対してもっと取り組みたくなる様な意識づけをできるイベントがあれば嬉しい(妻が口うるさく話しても、中々聞き入れてくれないので、第三者・外部の働きかけがあった方が有効かと思う)。
- 職場においてももっと子育てしやすい環境になればいいと思う。公的な職場なのに時短勤務が取りづらく、大変である。

基本目標 4 あんしん子育て！

- 受動喫煙問題には国や都と別でぜひ徹底的に（全面禁止）取り組んでほしい。道幅が狭い所が多いが、自転車のマナーが悪すぎるので、特に「ながらスマホ」に対する規制を強化して欲しい。子育て支援とは少し異なる要望なのかもしれませんが、子どもの安全を守るという意味でお願いしたいです。
- 屋外の公園、児童館以外の子どもが遊べる施設を増やしてほしい。幼児も通える習い事が増えると良い。
- 公園ではボール遊びの禁止の所が多く困っています。子供の遊び場であるはずの公園が老人の広場になり、のびのび子供が遊べません！！
- 不審者情報をできる限り周辺住民全員へ提供できるようにして、町全体で不審者から子供たちを守る事が出来たらと願っています。犯罪の無い安心して暮らせる街づくりを地域で。
- 子どもが安心して遊べる場所（公園や児童館など）をもっと増やしてほしい。学区内に大きな公園、児童館がまったくないのでとなりの学区に子どもたちだけでも遊びに行けるようにしてほしい。
- 駅の多目的トイレを増やしたり、駅前の道路を整備して子供の安全を確保してほしい。とにかく駅前には狭い道に、歩行者、自転車、車がぶつからないよう、皆が神経を使って利用していて、いつか何か事故がおこりそうでびくびくしている。

基本目標 5 みんなで子育て！

- 区で開催される講座についてシニア向けが多く、子育て世代に魅力的な内容が極めて少ない。子ども向けイベントも増やして欲しい。学力向上の取り組みも含め、他区から学べることもあると思うので良いものは取りこんでほしい。
- 地元が遠い方も多く、親から助けて欲しい時に近くにいないので、ファミリーサポートの話がよくママ同士であがります。内容はとても助かるのですが、お金がかかってしまうことが気軽に利用しにくいとみんなで話します。ぜひ定額にしてもらえたらと思います。子育てひろばも充実してる方だと思いますが、ぜひ利用時間をもっと長くしてもらえたらいいなと思います。公園で喫煙してる方がちらほらいるので全面禁止をお願いします。保健センターで行われる定期検診などが全て午後からなので、子供の都合ですが午前中に終わるようにしてほしいです。
- 幼児と小、中学生と触れ合い機会を多くなるように。幼児に向けた音楽、絵本、教育など関する講座がもっと多ければいいです。
- 子供と高齢者が関われる場があるといいなと思います。昔の遊びを教えてもらったり、昔の話を聞いたりそんな体験をしてもらいたい。
- ファミサポお願いしてましたが、「これくらい、もう一人でやらせれば？」（塾への送り）、「もう今月で終わりでも良いんじゃない？」（はじめて1カ月で）などなど、子供が心配でお願いし、お金もお支払しているのに、対応は最悪でした。半年ほどでやめました。街でお会いしてもあいさつしたくないぐらいです。
- 母親が熟などになったときに助けてくれる方（ボランティアさん）が近くにいる、すぐ来てくれるとたすかります。病院行くときだけでも見ていてくれる方など、あるのだとしたら、全く知られていないのでアピールしてほしい。助けてほしい時があります。

基本目標 6 つながる子育て！

- 父親にも参加できる事業などがあるとうれしいです。障害のある子とそうでない子がもっと一緒に集まれる場所やイベントがあるといいなと思います。プレ幼稚園がある様に、プレ小学校（区立）があると子どもも親も安心して進学できると思います。
- 障害をもつ親への育児支援について、区のサービスが十分でないと感じています。子供がある程度まで育つまでは訪問型のサポートを定期的に受けたいと思います。難病でできないことはどうしても出来ないの、ボランティアの方々の支援（大変感謝しております）を受けて何とかやっておりますが、本来は区の支援であるべきではないかと思えます。
- 発達系の病院が少なく、予約は2ヶ月待ちが当たり前。区で行っている訓練事業を小学生以上向けにも何かあればよいなと思う。放課後デイなども待ちが多く、もう少し区と連携していてもよいのかなと思う。発達系医療機関・支援の充実希望。

- ひとり親への区独自の支援策が欲しい（経済的、精神的）。教育に関して、学力が葛飾区は低レベル。学力向上する策を早期に検討してほしい。ひとり親同士のつながり、または親同士が交流できるイベントやシステムが欲しい。保育園での先生達との話し合い時間が少ない。また、親が園での子供の生活を見れる機会も少ない。夕食や休日などに子供・親・先生と一緒に過ごせる時間、イベントがあれば良いと思う。※私立保育園である良い取り組みは、区立保育園でも取り入れて欲しい。
- 地域の人、学校ももっと子供に対してきびしく、優しくしてほしい。虐待で命をおとす事件が起こらないよう、周りももっと協力してほしい。

その他

- マタニティタクシーの新しいサービスが始まりましたが就学前の子を持つ家庭に対してもタクシーが気軽に使える助成があれば良いと思います。急な病気やケガなどの際、タクシーを使えば…と思う時が多々あります。
- 3人乗り自転車の補助金2人目からではなく、1人目から助成してほしい。3人目から無料（幼稚園等）になることが多いが、2人目から半額くらいになる助成をしてほしい。3人目も産みたい気持ちはあるが、2人が金銭的に限界と感じる。2人目から補助を手厚くしてくれたら、3人目を産む人も増えると思います。
- 他の県や区は割と「子育てパスポート」で日用品などの買い物や子どもの遊び場の割引サービスが受けられる所が多いので、葛飾区もそのようなサービスがあると助かる。千代田線は満員に近い状態なので、ベビーカーはもちろん、子供を連れて電車に乗れない。朝、夕方の帰宅（通勤）ラッシュ時間帯のみだけでもタクシーチケットの配布などがあるといいと思う。
- 0歳、1歳、2歳児の預かれる保育所、認定こども園のわく（定員数）が増えるのを期待する。学童クラブの定員が100名以上の所が増えた割に、指導員、敷地面積的に少ない（希薄）と思う。1年生しか入れない。公園はたくさんあって良いがアスレチック系の遊具が不足していると思う。となり県の「チーパス」（千葉県）のような子育て優待券があるとうれしい。→（スポンサー増！！）。
- 外国人の子供が増えている中、言葉で中国語や英語など対応可能な保育士がいると安心です。もっと多様性に対応できる方を採用すべきです。保育費がやや高いので、国の制度をもう少し見直してほしいです。働く半分は保育代になります。